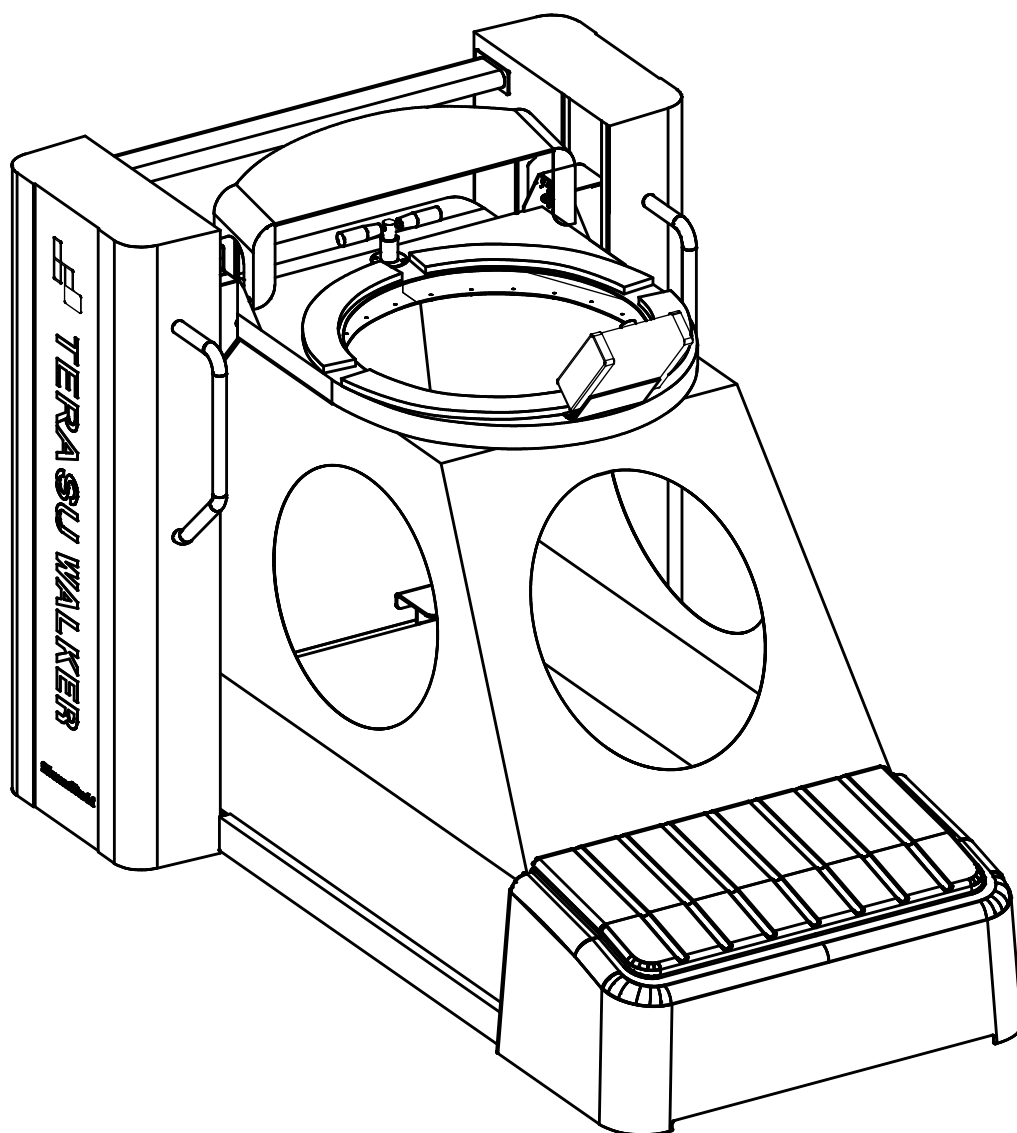


てらすウォーカー
取扱説明書・注意書



このたびは、昭和電機のトレーニング装置をお買い上げいただきありがとうございます。
本機を安全にご利用いただくために、この取扱説明書・注意書【特に△マーク部】をよくお読みください。

この取扱説明書・注意書は、大切に保管してご活用ください

【目次】

1. 取扱説明書・注意書の見方について	3～7
2. 各部の名称、及び付属品について	8～10
3. タッチパネルについて	11～12
4. 本機の使用方法について	
<電源について>	13
<ブレーキについて>	14
<ウエストシールの装置について>	15～19
<本機の運転について>	20～21
<緊急停止について>	22
<体幹保持具について>	23
<タッチパネルの操作について>	
(1) 基本フロー	24～28
(2) ホーム画面について	29
(3) モード選択について	29
(4) ウエストシールのサイズ選択について	30
(5) トレーニング画面について	31
(6) その他の画面について	32～34
(7) エラー画面一覧	34～36
5. 移動・設置について	37
6. 緊急時の脱出について	38～39
7. トレーニングについて	40




8. メンテナンスについて	
<圧力ジャケットの取り外し、取り付け方>	40～41
<歩行ベルトの張り・偏り調整について>	41～42
<圧力ジャケット内の清掃について>	42
<装置全体の手入れについて>	42
<圧力ジャケットについて>	42
<ウエストシールについて>	42
<バッテリーの交換手順>	43
9. 消耗品、定期点検項目について	44
10. トラブルシューティング	45～46
11. 仕様	47
12. 保証について	47
13. お問い合わせ先	48

※本製品は、予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

1. 取扱説明書・注意書の見方について

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用される方々への危害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをする
と生じる事が想定される内容を『危険』『警告』『注意』の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告用語	意味
 危険	切迫した危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは重傷を負う危険が生じる事が想定される場合に使用しています。
 警告	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定される場合に使用しています。
 注意	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと中・軽傷を負う場合、機器・機械が損傷する場合、または製品に不具合が生じる場合に使用しています。

本書記載の『危険』『警告』『注意』事項を順守されずに使用されて生じたいかなる事故につきましても、弊社といたしましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

危険

- 本機の近くで可燃性および引火性の気体・液体を使用しないでください。
- 本機の配線は、必ず電気工事の有資格者が電気設備技術基準や内線規程に従い施工してください。
- 本機の分解・改造は絶対におやめください。
- ウエストシールに火の気を近づけないでください。生地が溶けたり燃えたりする可能性があります。

⚠ 注意

<設置上の注意事項>

- 本機は必ず平らな場所に設置してください。
- キャスターを付けたまま使用しないでください。(本機設置時にキャスターを取り外してください)
- 本機は屋内での使用に限定し、屋外では使用しないでください。
- 使用場所の周辺に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、必ず周囲を整理整頓してから使用してください。
- 水のかからない場所に設置・保管してください。また、熱器具の近くや浴室など湿気の多い場所への設置は避けてください。
- 湿度・風通し・日光に留意し、ほこり・塩分・硫黄分などにより、悪影響が生じる恐れのない場所に設置・保管してください。
- メンテナンススペースとして、本機の周囲500mm以上あけてください。
- 圧力ジャケットに穴・裂けなどが無いか確認してください。
- 本機には、絶対に物を置かないでください。
- 本機の歩行ベルト以外の場所には乗らないでください。
- 電圧、周波数が正しく供給できる場所に設置してください。
- 本機を設置するにはアースを正しく確実に接地してください。
- コード類が正しく確実に接続されているかご確認ください。
- コード類を取り外す時は必ず電源を「OFF」にした状態で取り外してください。
- 弊社指定のコード類以外は絶対に接続しないでください。電気仕様の違いにより破損する可能性があります。

<電動機器の注意事項>

- 本機を単相・AC100V電源以外で使用しないでください。
- 電源は定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。他の機器とコンセントを共用するとブレーカが作動する可能性があります。
- 使用されない時や雷が鳴り出した時には、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。故障、感電、漏電、発火の原因となることがあります。
- コンセントから電源プラグを抜き差しする際は、濡れた手で触ったり、電源コードを引っ張ったりしないでください。また、電源コードや電源プラグが痛んでいる、電源プラグの差し込みが緩んでいる状態で使用しないでください。故障、感電、漏電、発火の原因となります。
- 歩行ベルトに無理な負担をかけるような使用はしないでください。故障、発熱、発火の原因となります。
- 室温は10℃～30℃で使用してください。環境仕様範囲以外で使用すると不具合の原因になります。
- 万一、異常な音・振動・におい・煙が出た際は、本機右後方にある電源スイッチを「ON」から「OFF」にし、コンセントから電源プラグを抜いてください。また、弊社（または販売店）までご連絡ください。
- 本機の電源を入れる前に必ずタッチパネルのコードが正しく接続されていることを確認してください。接続不良は故障、感電、漏電、発火の原因になります。
- 異物を本機内に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障、感電、漏電、発火の原因になります。

警告

<使用前の警告事項>

- 本機は歩行によるトレーニングを支援するための製品です。人の運動の目的以外では使用しないでください。
- 本機は日本国内でのみ使用ください。
- 本機の使用はリハビリテーションまたは、トレーニングをされる方を対象としています。リハビリテーションを目的として使用する場合は医師の指導のもと、使用してください。
次に該当する方は本機を使用しないでください。
 - ・医師が使用を不相当と認めた方

次に該当する方が使用する場合は、必ず医師に相談の上、使用してください。

- ・医師の治療を受けている方
- ・知覚障害のある方
- ・妊娠している、または妊娠の疑いのある方
- ・皮膚疾患のある方
- ・血行障害、血管障害など循環器に障害をお持ちの方
- ・骨粗鬆症など骨に異常のある方
- ・心臓に疾患のある方
- ・ペースメーカーなどの体内植込型医療電子機器を使用している方
- ・呼吸器障害をお持ちの方
- ・高血圧症の方
- ・リウマチ症、痛風、変形性関節炎等の方
- ・腰痛（椎間板ヘルニア・脊柱すべり症・脊柱分離症など）のある方
- ・脚部に静脈りゅうなどの重度の血行障害や血栓症などのある方

上記以外に身体に異常を感じている時

- 本機を使用する前に必ず準備体操を行ってください。
- 急激な運動は体に過度の負担がかかりますので、無理をせず、少しでも異常を感じたら直ちに運動を中止し、医師にご相談ください。
- 本機を使用する際は必ず、介助者がサポートを行ってください。
- 本機は1人用のトレーニング装置です。同時に2人以上が乗り込んで使用しないでください。
- 前カバーに対して後ろ向きに立って使用しないでください。
- ウエストリング・支柱の接合部分、ボルト等にガタツキや緩み等が無いか確認してください。
- 各部の機能が正しく作動しているかどうか、使用前に必ず点検してください。

▲ 注意

<使用上の注意事項>

- 体幹を支えられない方、自立できない方の使用はご遠慮ください。
- 食後すぐにトレーニングを行うのは控えてください。食後2時間程度あけてからトレーニングする事をお勧めします。また、飲食・喫煙しながらの運動や飲酒後の運動をしないでください。
- 本機を使用の際は、動きやすい服装に着替えて、使用される方のサイズに合った運動靴を履き、靴紐が巻き込まれないようにしっかりと結んでください。素足やスリッパ履きで運動しないでください。
- ゴムひものズボンで本機を使用の場合、ウエストシールを脱ぐ際に一緒に脱げてしまう可能性がありますので、ウエストを固定できる紐付きのズボンの着用をお勧めします。
- 本機の使用体重制限は150kgです。(ウエストサイズはP. 15参照)
ただし、体幹保持具の使用体重制限は100kgです。
- 本機は使用者の歩行の際に下半身にかかる負担を空気ので軽減しています。本機使用后、空気の力が無くなると、下半身に従来以上の重さを感じる事があります。
- 歩行ベルトは消耗品です。使用条件・環境にもよりますが、10,000kmを交換目安としてください。歩行ベルトの交換を怠りますと、モータなどの故障につながります。
- 歩行ベルトは有償にて交換いたします。弊社(または販売店)までご連絡ください。
- 本機の操作は全てタッチパネルで行います(タッチパネルは本機からの脱着が可能です)。速度調整、免荷率調整等の操作を介助者が行う場合、介助者は本機使用者が運動するのに危険のない場所に立って操作を行ってください。
- ハンドル操作は介助者が行ない本機使用者に危険のないことを確認して行ってください。
- タッチパネルの操作は必ず人の手で行ってください。必要以上に強い力を加えたり、硬いものや尖ったもので操作するとタッチパネルの故障の原因となる事があります。
- トレッドミルの運転中に歩行ベルトに触れないでください。指の巻き込まれの恐れがあります。
- トレッドミルの運転中にブレーキをロックさせないでください。歩行ベルトの急停止によりけがや機器が故障する恐れがあります。
- 本機のトレッドミルは電動です。使用中に緊急停止させる場合は、タッチパネルまたは、ウエストリングに付いている「緊急停止ボタン」を押してトレッドミルを停止させてください。
- 本機は下半身にかかる負担を軽減させるために、ウエストシールの着用が必要です。着用される際には、ウエストシールの前・後ろ確認して着用してください。
- ウエストシールの取付位置を誤ると体重の軽減が得られない場合があります。正しい位置にて使用してください。(P. 16参照)
- 使用前にウエストシールにホツレ・破損が無い確認してください。
- 本機使用中はお子様近づかないようにしてください。
- 尖ったもの、製品を傷つけるようなものを持って歩行しないでください。
- 使用前に圧力ジャケットに穴・裂けなどが無い確認してください。
- 免荷中は、圧力ジャケットに触れないようにしてください。特に支柱と圧力ジャケットの間に手や異物を入れないでください。
- ウエストリングの上に乗らないでください。けがや事故、機器の破損の原因となります。

注意

<ウエストシールについての注意事項>

- ウエストシールは通気性の無い独立発泡ゴム製です。保管の際にはしわができないようフックなどで吊ってください。保管状態が悪いとしわが戻らなくなり、空気漏れの原因となります。
- 着用時に不快感、肌に異常を感じた時はただちに着用を止めてください。
- 日光による変色・変質の恐れがありますので、必ず直射日光を避けて保管してください。

<お手入れについての注意事項>

- お手入れの際には必ず本機右後方の電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を長期にわたり使用していただくために、定期的にはほこり、汚れを拭き取ってください。
- 本機、または圧力ジャケットは、水、ぬるま湯または薄めた中性洗剤でお手入れしてください。アルコール及び有機溶剤（例：シンナー）等は使用しないでください。劣化や生地への破損の恐れがあります。
- ウエストシールは、水、ぬるま湯または薄めた中性洗剤で洗い、陰干ししてください。塩素系の洗剤は使用しないでください。変色・変質が起こる場合があります。

<体幹保持具についての注意事項>

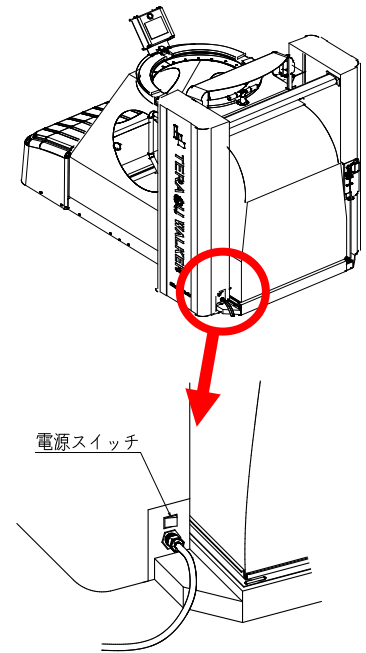
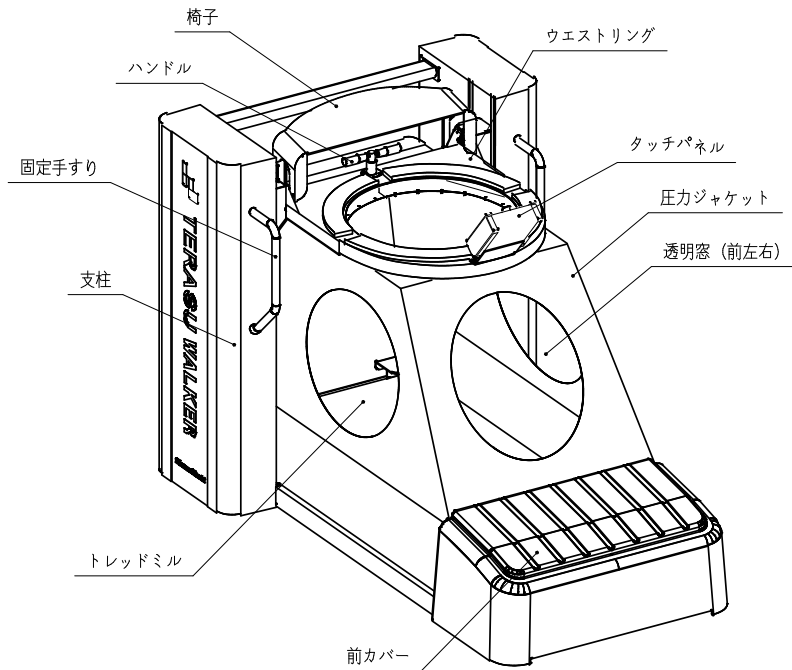
- 体幹保持具にぶら下がるような使い方は絶対にしないでください。怪我、機器の故障の原因となります。
- 使用時は必ずロックがされていることを確認してください。
- 体幹保持具の下に体を置いた状態でウエストリングの昇降を行わないでください。挟み込みなどの事故が発生する恐れがあります。

<保管についての注意事項>

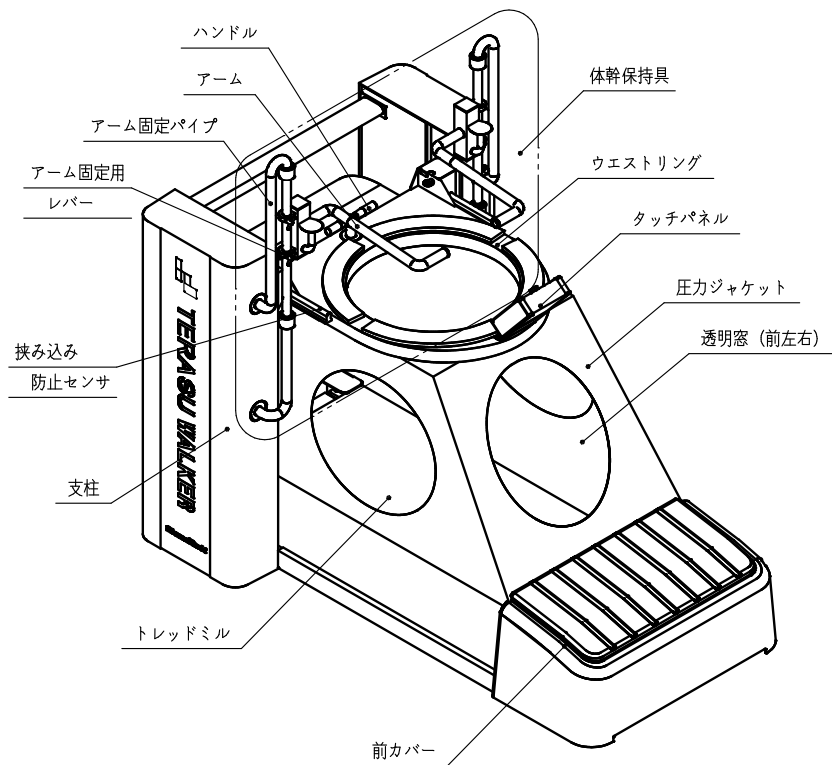
- 保管場所は本機でつまづかないような場所に置いてください。また、必要に応じてカバーを被せてください。また、直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には保管しないでください。
- ウエストリングを上へあげた状態で保管してください。
- 長期間保管し、再び使用される場合は、本書の警告及び注意事項を再確認の上、使用してください。

2. 各部の名称、及び付属品について

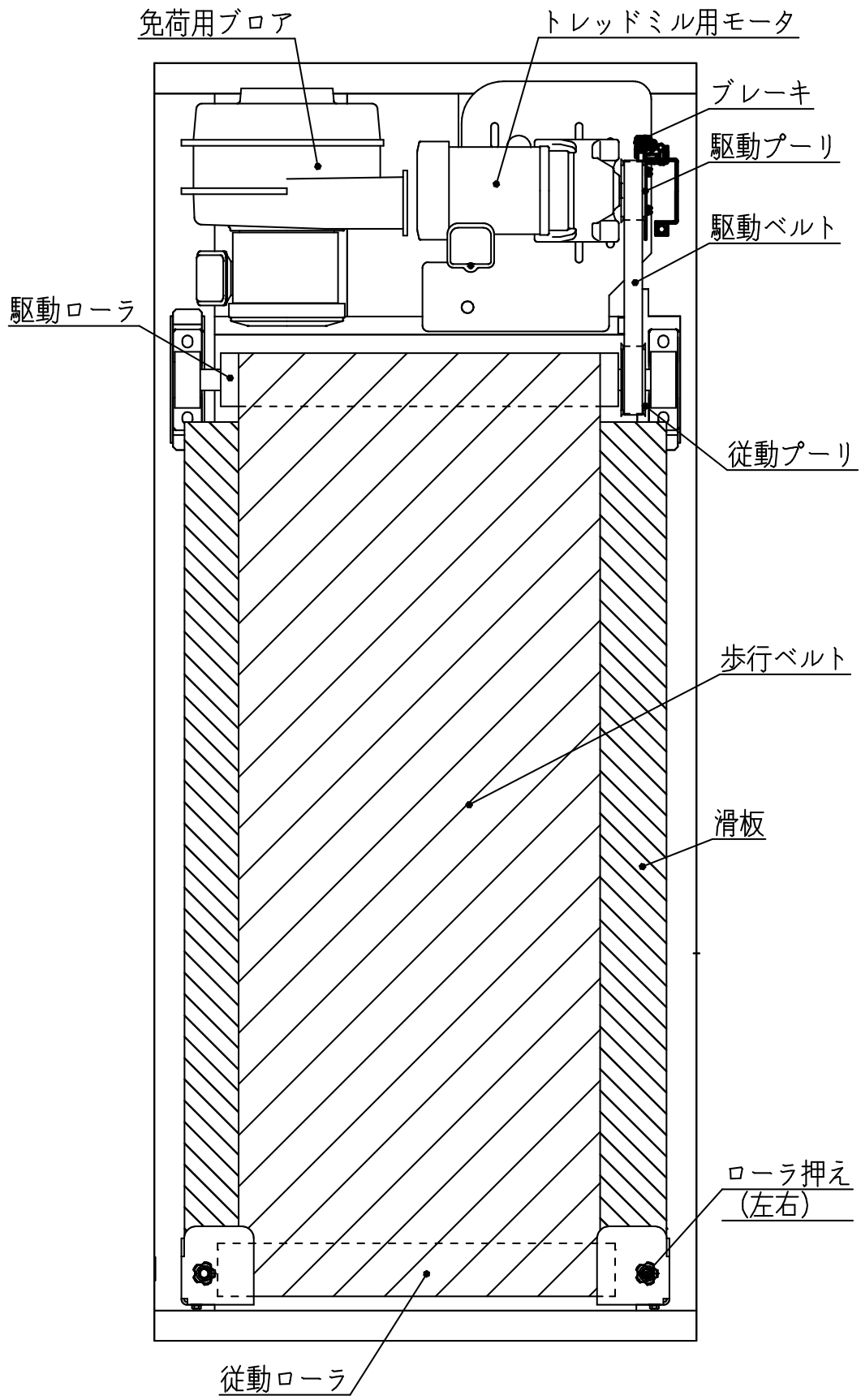
本体



体幹保持具無仕様

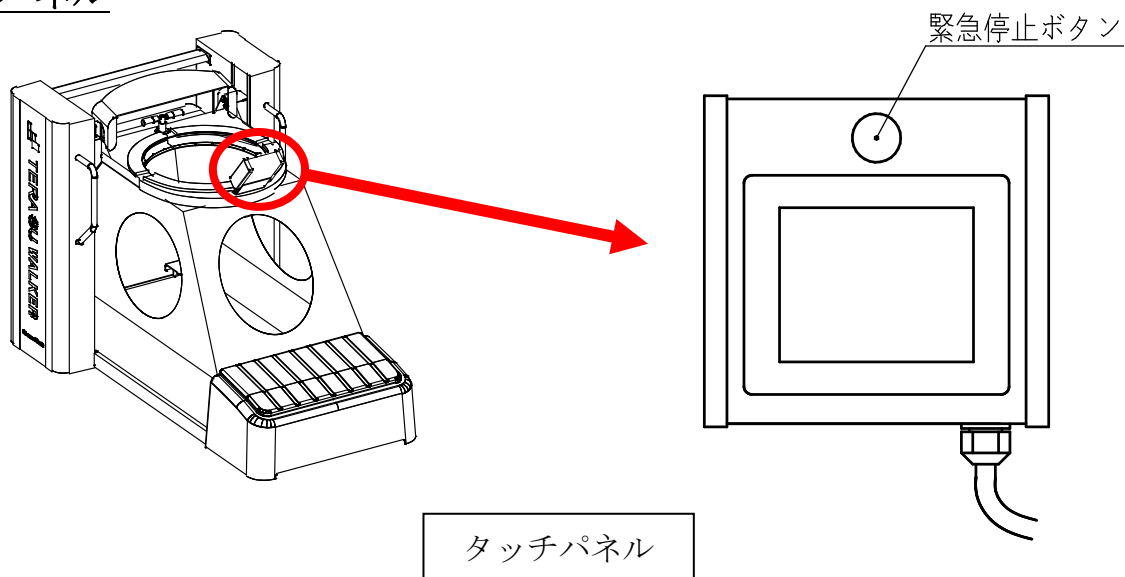


体幹保持具付仕様



トレッドミル平面図 (内部)

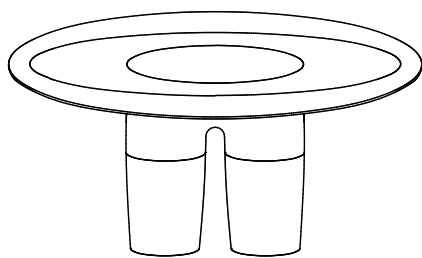
タッチパネル



タッチパネル

付属品

- ・取扱説明書 1冊
- ・ウエストシール 4セット (材質: ナイロンジャージ+クロロプレンゴム)
- ・ジャッキ受け 1個
- ・キャスター 4個
- ・リング高さ測定用メジャー 1個
- ・コードフック (タッチパネル用) 1個 (本機の固定手すりに設置済)



ウエストシール



リング高さ測定用メジャー



ジャッキ受け



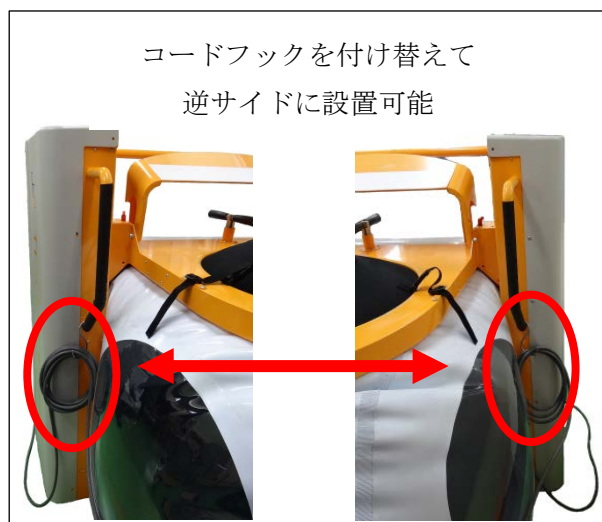
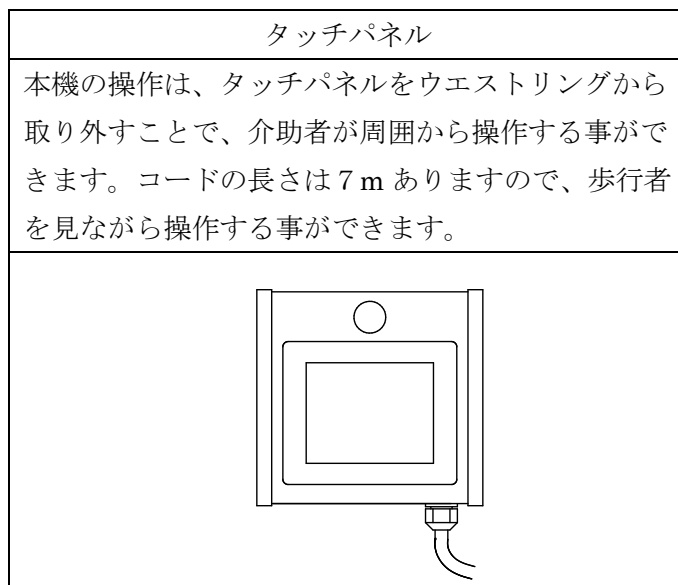
キャスター



コードフック

3. タッチパネルについて

本機の操作はタッチパネルで行います。



タッチパネルから出ているコードを束ねる時は固定手すりに設置しているコードフック（写真参照）を使用してください。ウエストリングが上昇した時に、コードを引っ張らないように、長さに余裕を持ってフックを巻き取ってください。また、乗降時にコードが足に引っ掛からないように、乗降側と反対側の固定手すりにコードフックを設置してください。

（コードフックを付け替えて、逆サイドの固定手すりに設置可能）

- △注意** タッチパネルを無理に引っ張らないでください。故障の原因となります。
- △注意** 歩行者自身が無理な速度で歩行しながらのタッチパネルを操作することは危険です。

<タッチパネルの寿命について>

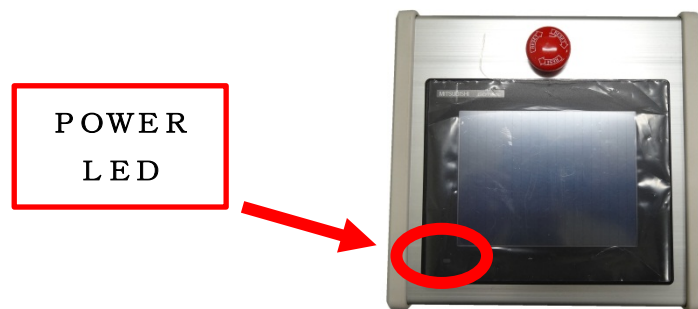
タッチパネルは液晶表示用にバックライトを内蔵しています。バックライト切れを検出するとタッチパネルの左下のランプ（POWER LED）が点滅します。（橙色と緑色の交互）この状態になると装置を動かす事が出来なくなります。また、タッチパネルは使用を続けていくと色彩性能が低下しコントラストが低くなります。

バックライト切れ、またはタッチパネルの色彩性能が低下した場合は、弊社（または販売店）までご連絡ください。

※バックライトの寿命は約75,000時間です。

※タッチパネルの色彩性能の寿命の目安は約50,000時間です。

△危険 バックライトが切れた場合、または故障の場合にタッチ操作を行うと、
トレッドミルや免荷用ブローが動作する恐れがあります。
トレッドミルが動くと大変危険ですので、表示部を触らないでください。



タッチパネルには、バッテリーが内蔵されています。バッテリーの寿命が尽きるとタッチパネルの時計機能が正常に動作せず、一部の機能に不具合が生じます。メンテナンス時期の表示に影響がありますので、バッテリー交換の画面が表示された場合、バッテリーの交換を行ってください。

（P. 43参照）

※バッテリーの寿命は約5年です。

4. 本機の使用方法について

本機は、空気の力を用いて体を浮かし、下半身にかかる負担を軽減させることで無理なくトレーニングを行うためのものです。各使用方法を読んだ後、正しく使用してください。

<電源について>

(1) 外部電源と接続

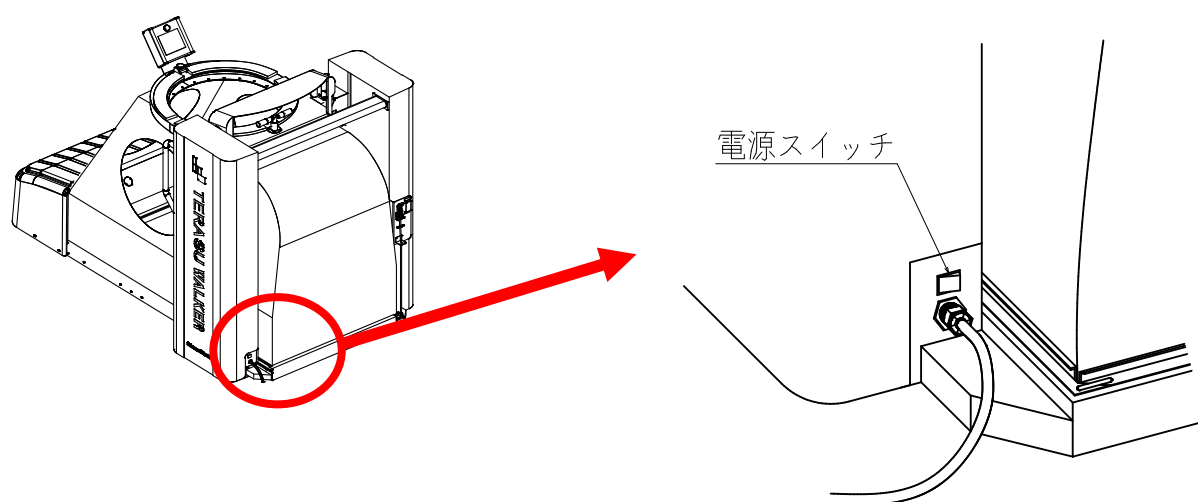
電源プラグをコンセント（2極接地付き15A以上の許容電流のもの）に接続してください。

(2) 電源を入れる

支柱に設置している電源スイッチを「OFF」から「ON」にします。

この時、電源スイッチが点灯します。

タッチパネルの電源が自動的に入り、約20秒で使用可能になります。



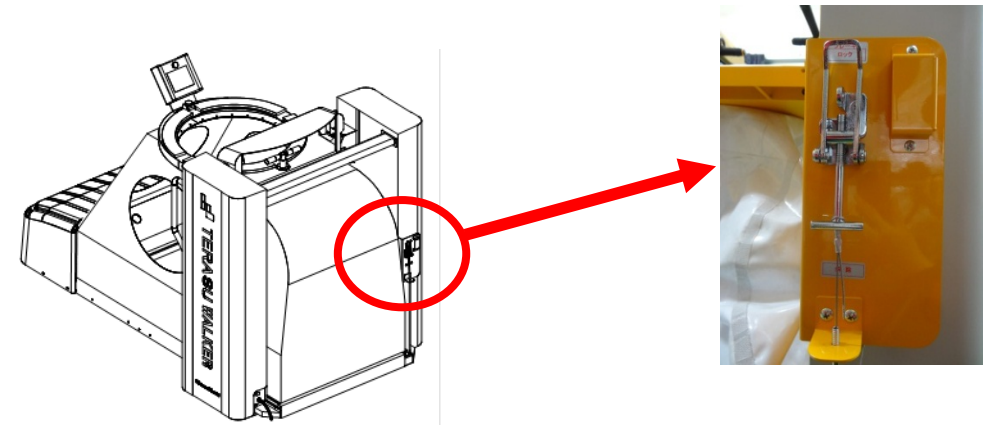
● 始動画面

電源スイッチを「ON」にするとタッチパネル画面に「注意文」が表示されますので、使用前に必ず読んでください。確認ボタンで次へ進みます。

▲ 注意 起動中に電源を切らないでください。内部データが破損する場合があります。

<ブレーキについて>

本機は安全のため、ブレーキ機構により歩行ベルトを固定させることができます。



(1) ブレーキのロック

レバーを「ロック」側へ倒して下さい。

(2) ブレーキの解除

レバーを「解除」側へ倒して下さい。

歩行トレーニングができるようになります。

⚠ 注意 歩行時以外はブレーキの解除を行わないでください。歩行ベルトが動くため、転倒によるけがをする恐れがあります。

⚠ 注意 歩行中にブレーキのロックを行わないでください。歩行ベルトの急停止によりけがや機器が故障する恐れがあります。

<ウエストシールの装着について>

本機は、ウエストシールを自動で装着することができます。

下記のサイズ表を参考にウエストシールを準備してください。

※使用者のサイズに合ったウエストシール（下記サイズ表参照）を使用してください。

※下記ウエストシールのサイズ表は目安です。

※ウエストシールのサイズはウエスト付近に表示しています。サイズ表示のある面が前方向です。

ウエストシール サイズ表

単位 cm	3S	SS	S	M	L	LL	3L	4L	K1	K2	K3	K4
ヒップ	74～	76～	80～	82～	86～	91～	96～	101～	105～	115～	125～	135～
	80	82	86	86	93	98	103	108	115	125	135	145
モモ周り	41～	43～	45～	47～	49～	51～	53～	54～	55～	59～	63～	68～
	45	47	49	51	53	55	57	58	60	64	68	73
ウエスト	56～	60～	64～	68～	73～	77～	82～	88～	96～	106～	116～	126～
	62	66	70	75	79	83	88	96	106	116	126	136

※太枠で囲っているサイズが標準付属されているウエストシールです。

※太枠以外のサイズが必要な場合は弊社までご連絡ください。

●ウエストリングの高さ位置

立った状態でリング高さ測定用メジャーを使って設定するウエストリングの高さ位置を測定してください。また、座った状態では下記の方法で測定した値（A+B）をウエストリングの高さ位置に設定してください。

ウエストシールのスカート部が水平になる位置で高さを測定する

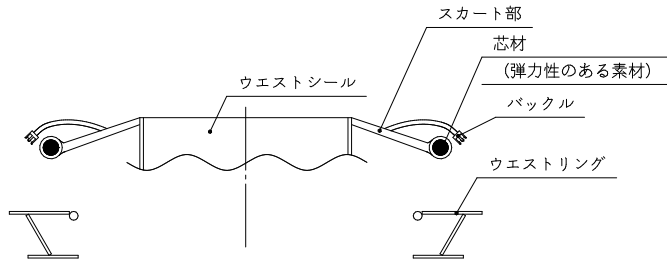
立った状態

座った状態

高さ (段数)	寸法 A+B (mm)
14	976～
13	951～975
12	926～950
11	901～925
10	876～900
9	851～875
8	826～850
7	801～825
6	776～800
5	751～775
4	726～750
3	701～725
2	676～700
1	～675

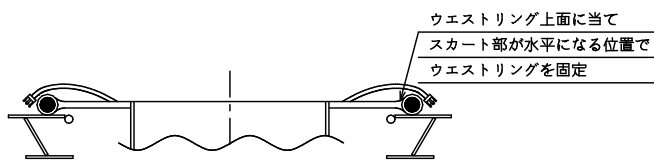
●ウエストシール装着の手順

A. ウエストシール装着前



タッチパネルを操作して、ウエストリングを一番下まで下げた状態にしてください。

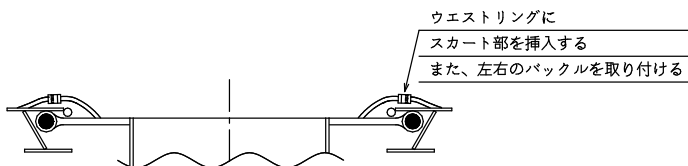
B. ウエストリングの高さ設定



タッチパネルを操作して、ウエストリングの高さを設定してください。

(P. 15、P. 25参照)

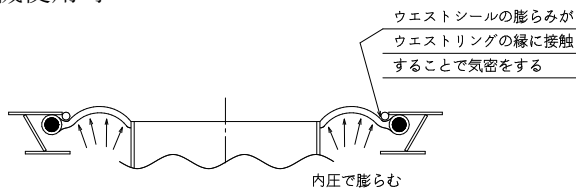
C. ウエストシールの装着



ウエストリングにウエストシールを装着してください。またバックルも取り付けてください。

▲注意 ※バックルは使用者の転倒防止のためにあります。必ず、取り付けてください。

D. 本機使用時



※ウエストシールの芯材部の全周をしっかりとウエストリングに装着してください。

正しく装着されていない場合は、空気が漏れる原因となり圧力ジャケットが適切に膨らまない可能性があります。

※介助者の方へ

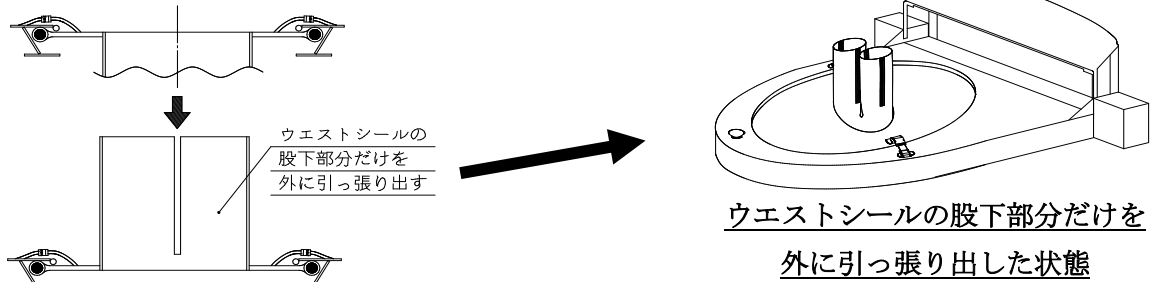
トレーニング者が乗り込む際や、ウエストリングが上がってくるまでの間、トレーニング者の体を支え、転倒するのを防止してください。

(1) ウエストシールの装着補助ありの場合（ウエストシールを自動で装着できる機能）

①ウエストリングにウエストシールを取り付け

乗り込む前にウエストリングの高さを測定してください。（P. 15参照）

次にタッチパネルを操作して、ウエストリングを一番下まで下げた状態にして、ウエストリングにスカート部を挿入し、バックルを取り付けた後にウエストシールの股下部分だけを外に引っ張り出して



②本機への乗り込み

固定手すりを持ってウエストリングの左右どちらかより乗り込んでください。

【体幹保持具（オプション品）付の場合】乗り込む側のアーム固定用レバー2ヶ所を緩め、アームを手前に引き乗り込むための通路を確保してレバーを締めてください。

その後、アームが動かないことを確認し、左右両側のアームを持って乗り込んでください。

詳細はp. 23 <体幹保持具について>を参照してください。

※段差があるので足元に気を付けて乗り込んでください。

※介助者の方へ 乗り込み時、及びウエストリング上昇時はトレーニング者の体を支えてください。

※レバーを締めた状態で回転方向に動かさないでください。アームを昇降させる際に異音が発生したり、アームを固定する締め付け力が弱くなる可能性があります。

※レバーを締めてもわずかに回転方向に動くことがあります但不具合品ではありません。

※軸部に黒い粉が発生することがありますが、金属粉ではなくコーティング剤です。

※軸部に微小の粉が発生することがあるため、使用する際に拭き取りをお願いします。

③ウエストシールの装着

椅子に座りウエストシールの股下部分だけを外に引っ張り出した状態のまま足を入れてください。

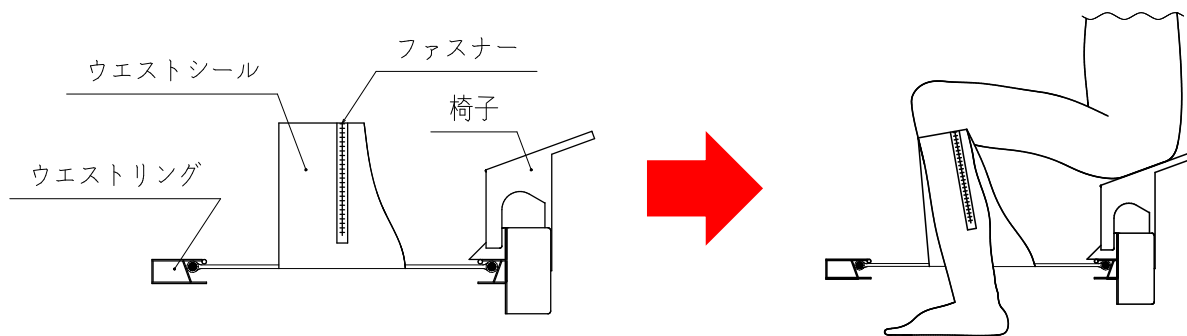
【体幹保持具（オプション品）付の場合】両端のアームで体を支えた状態で、ウエストシールの下部分だけを外に引っ張り出した状態のまま足を入れてください。

膝下まで穿きウエストシールのファスナーを閉めてください。

※椅子から滑らないように深く腰掛け、両側の固定手すりを持ってください。

握力の弱い方は手すりだけで体が支えられない可能性がありますので、特にご注意ください。

※（【体幹保持具付の場合】は椅子を使用せず、体幹保持具を使用し立位を保った状態で装着する仕様となります。）



④ウエストリングの高さ位置の設定

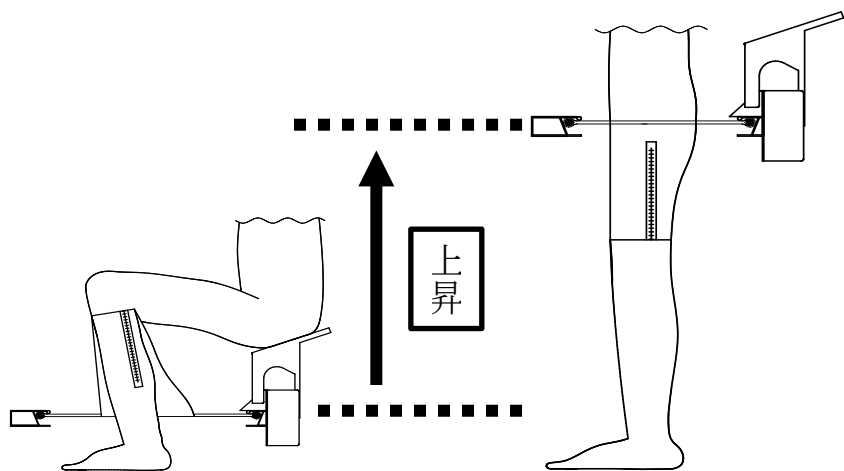
タッチパネルを操作して、①で測定した高さに設定してください。(P. 25参照)

ウエストリングが上昇すると同時にウエストシールも上昇し、自動的にウエストシールが装着されます。

※ウエストリングの上昇中は、本機の免荷用ブローが起動します。

※ウエストリング上昇中はウエストリングの中央に立ち、できる限り動かないようにしてください。

⚠注意 ウエストリング上昇中は挟まれ注意のシールの上には絶対に手を置かないでください。



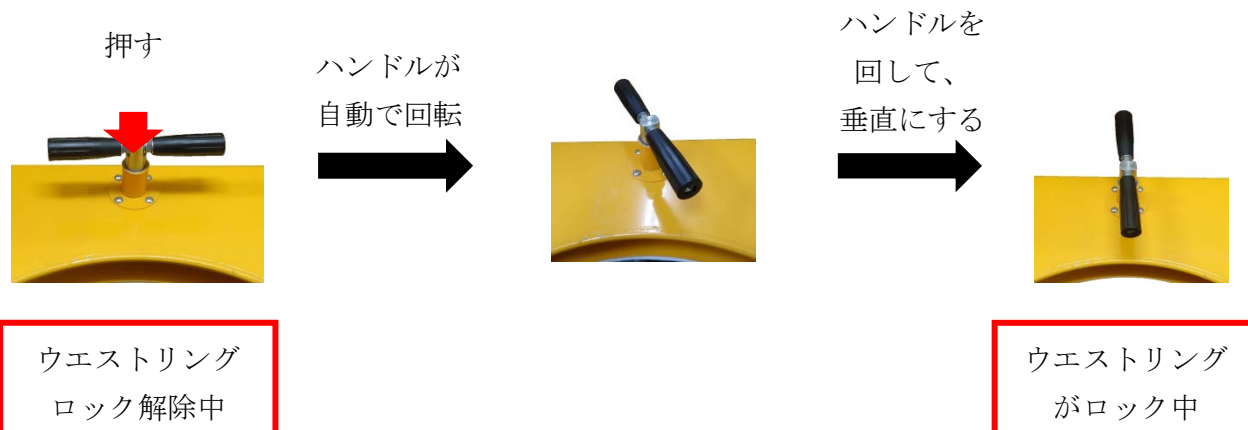
ウエストリングの高さ位置設定前

ウエストリングの高さ位置設定後

※体幹保持具 (オプション品) 付の場合は椅子を使用せず、体幹保持具を使用し立位を保った状態で装着する仕様となります。

⑤ウエストリングのロック

下図の要領でウエストリングをロックしてください。



△注意 本機を使用中（免荷中）にハンドル操作（ウエストリングのロック解除）をしないでください。内圧によりウエストリングが勢いよく持ち上げられる恐れがあります。

(2) ウエストシールの装着補助なしの場合（ウエストシールを装着した状態で本機に乗り込む）

①ウエストシールの装着

ウエストシールを履きリング高さ測定用メジャーで設定するウエストリングの高さ位置を測定してください。（P. 15参照）

②本機への乗り込み

タッチパネルを操作してウエストリングを一番下まで下げた状態にし、

(1) ②の要領で乗り込んでください。

アームの高さ調整については、p. 23を参照してください。

※段差があるので足元に気を付けて乗り込んでください。

③ウエストリングの高さ位置設定

タッチパネルを操作して、①で測定した高さに設定してください。（P. 25参照）

△注意 ※本機を使用中（免荷中）にハンドル操作（ウエストリングのロック解除）をしないでください。内圧によりウエストリングが勢いよく持ち上げられる恐れがあります。

④ウエストリングにウエストシールを取り付け

ウエストリングにウエストシールを取り付け、バックルを取り付けてください。（P. 16参照）

※ウエストシールの芯材部の全周をしっかりとウエストリングに取り付けてください。正しく

取り付けていない場合は、空気が漏れる原因となり圧力ジャケットが適切に膨らまない可能性があります。

⑤P. 19の要領でウエストリングをロックしてください。

△注意 ※バックルはトレーニング者が転倒するのを防止します。必ず取り付けてください。

<本機の運転について>

(1) 本機の運転

モード選択・免荷率・速度の設定を行い、本機を運転させます。

免荷率が目標値に達するまで約20～30秒かかります。

※タッチパネルに「免荷準備中」が表示されている間は、トレッドミルを動かすことはできません。

その他、ブレーキがロックされている状態でも「免荷準備中」と表示され、トレッドミルを動かすことはできません。

※周囲の空気を圧力ジャケット内に送ることで免荷を行います。室温が低いと送られてくる空気の温度も低いので寒く感じる事があります。

※免荷率・速度設定の方法はP. 31を参照ください。

(2) 本機の運転終了

運転を終了する際は、操作用タッチパネルの設定画面にある「停止」をタッチします。

「停止」をタッチすると免荷・トレッドミルを停止させることができます。

※ブレーキを使用してトレッドミルを停止させないでください。

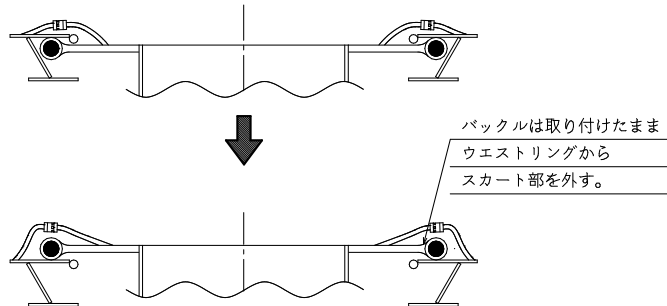
※トレッドミル停止後に、ブレーキをロックさせてから次の操作を始めてください。

▲注意 免荷を停止して内圧が下がると、軽減されていた体重が元に戻ります。この時、体に従来以上の重さを感じる事があります。徐々に免荷量を減らしてから停止させることをお勧めします。

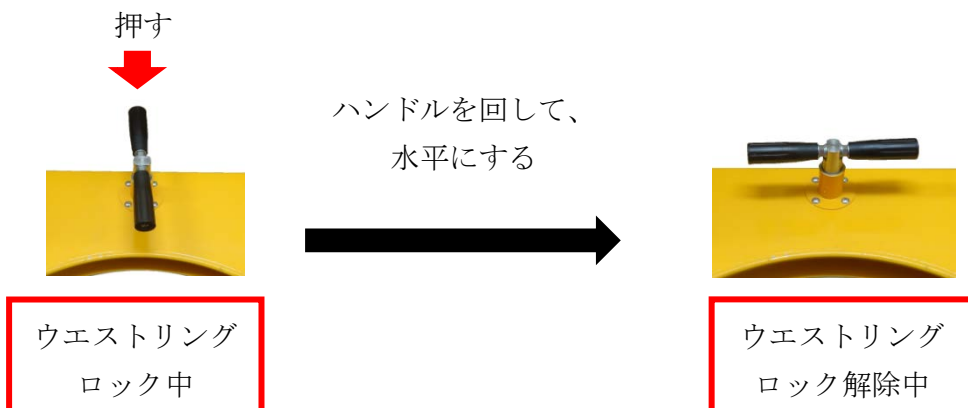
(3) ウエストリングシールの脱着

①ウエストシールの装着補助ありの場合

ウエストシールをウエストリングから外し、バックルは取り付けたまの状態でします。



ハンドルを操作してウエストリングのロックを解除してください。



タッチパネルを操作して、ウエストリングを一番下まで下げてください。(P. 26 参照)
バックルを外し、ウエストシールを脱いでください。

ウエストシールを脱いだ後、装置に乗り込んだ時とは逆の手順で装置から出てください。

※ウエストリング下降中はウエストリングの中央に立ち、できる限り動かないようにしてください。

※運動後は圧力ジャケット内の空気が一気に抜けるため、体が重たく感じる事があります。

▲注意 ゴムひものズボンで本機を使用する場合、ウエストリングが下がる際にウエストシールと一緒にズボンが脱げてしまう可能性がありますので、ウエストを固定できる紐付きのズボンの着用をお勧めします。

②ウエストシールの装着補助なしの場合

バックルを外してウエストシールをウエストリングから外してください。

ハンドルを操作してウエストリングのロックを解除してください。(P. 20 参照)

タッチパネルを操作してウエストリングを一番下まで下げてください。(P. 26 参照)

ウエストリングを一番下まで下げた状態で、装置に乗り込んだ時とは逆の手順で装置から出てください。

※ウエストリング下降中はウエストリングの中央に立ち、できる限り動かないようにしてください。

(4) 電源を切る

タッチパネルの「終了」ボタンを押してください。(P. 26 参照)

↓

次の画面で「OK」ボタンを押してください。自動的にウエストリングが上昇した後終了します。

↓

本機右後方の電源スイッチを「OFF」にします。

↓

電源プラグをコンセントから抜いてください。

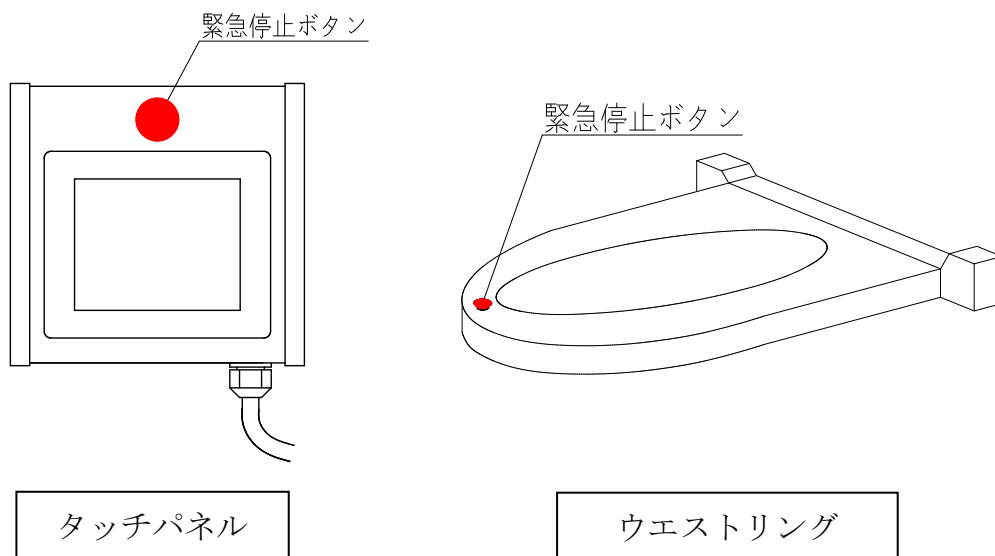
<緊急停止について>

(1) 装置を緊急停止

本機は赤い緊急停止ボタンがタッチパネルとウエストリングに1つずつ付いています。歩行者が万一、運動についていけない場合やベルトに足を取られた場合に緊急停止ボタンを押すと免荷とトレッドミルが停止します。

※停止するまでに5秒程かかります。

また、リハビリテーション中など介助者が歩行者に何らかの異常を感じた時には、緊急停止ボタンを押してください。



(2) 緊急停止を解除

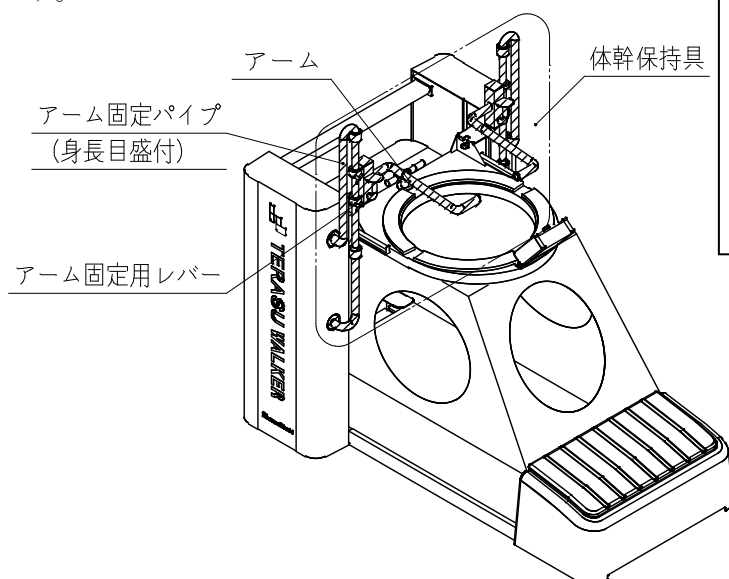
緊急停止ボタンを押すと、タッチパネルに「緊急停止中」が表示され本機が停止します。緊急停止を解除するまで免荷用ブローア（免荷開始）およびトレッドミル用モータ（歩行開始）は動きません。

緊急停止の解除は、押した緊急停止ボタンを時計回りに回転させてください。ボタンが手前へ出て、タッチパネルの「緊急停止中」表示が消え、緊急停止を解除します。



<体幹保持具について>

体幹保持具付仕様の製品は、左右の支柱の手すりが体幹保持具になっております。(斜線部)
体幹保持具を使用することにより使用者の上半身をサポートしながらトレーニングを行うことが出来ます。



※ウエストリング上昇中は挟まれ注意のシールの上には絶対に手を置かないでください。

※レバーを締めてもわずかに回転方向に動くことがあります但不具合品ではありません。

乗り込み時の使用方法是下記の通りです。

- ①乗り込みと反対側の2か所あるアーム固定用レバーを緩め、アームが使用者の脇の下側の高さになるように高さを調整し、アーム固定用レバーを固定します。
(身長目盛を目安にスムーズに調整が行えます)

※レバーを固定した状態で回転させないでください。

アームを昇降させる際に異音が発生したり、アームを固定する締め付け力が弱くなる可能性があります。



- ②乗り込み側のアーム固定用レバーを一番低い高さで開いた状態で固定します。
(右図の状態)

- ③アームをつかみ乗り込みます。

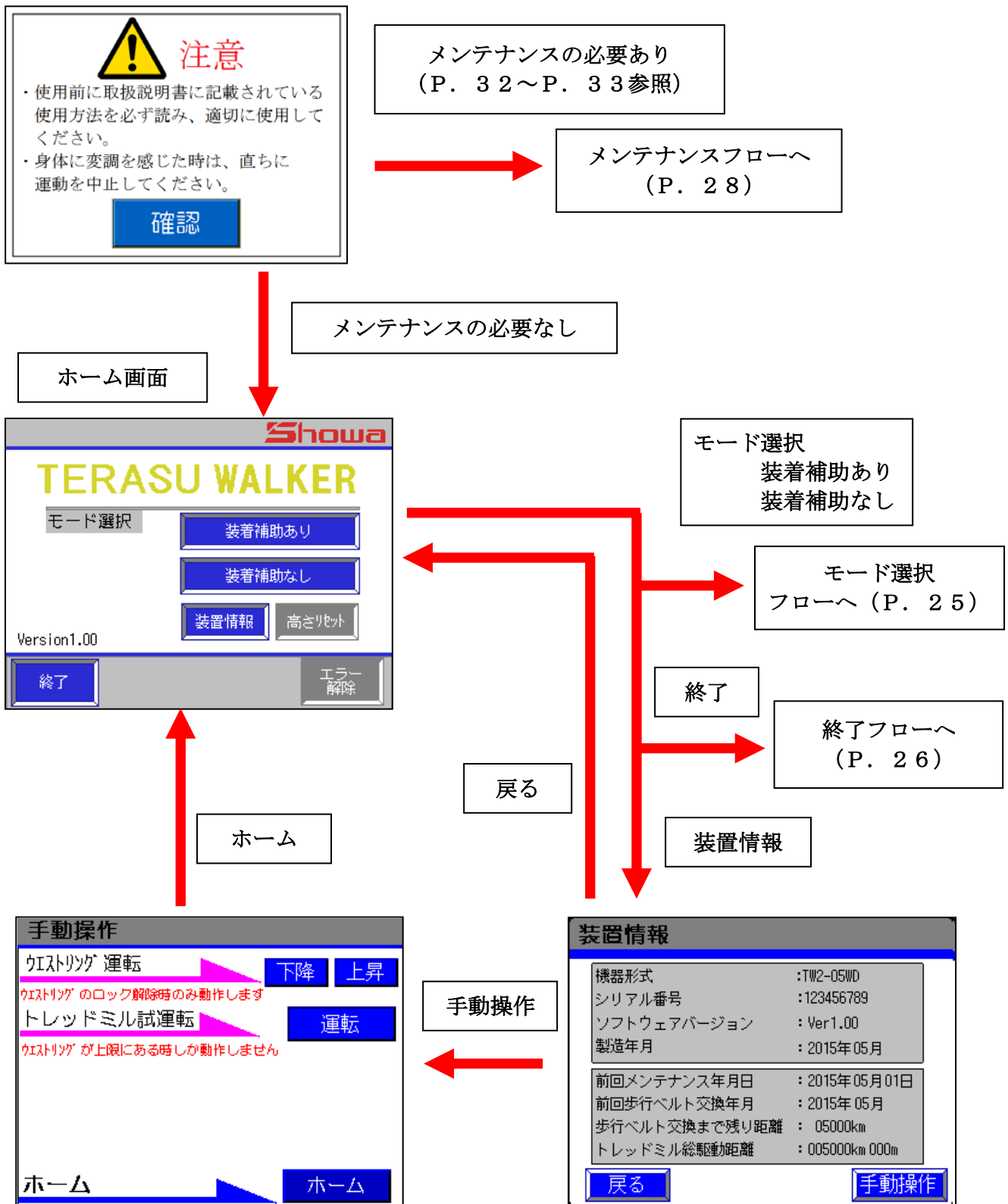


- ④乗り込み側のアーム固定用レバーを緩めアームを90°回転させ、使用者の身長に合わせ高さを調整し、アーム固定用レバーを固定します。




<タッチパネルの操作について>

(1)基本フロー



モード選択フロー

ブレーキロック確認
 トレッドミルの**ブレーキロック**を行ってください。



ブレーキせずに進む

戻る エラー解除

※ブレーキロックがされていない場合に表示されます

ロック解除確認
 ウェストリングのロックを解除してください。解除後は自動で画面が切り替わります。

①押す ②押しのまま回転させる ③水平にして引き上げる



戻る エラー解除

※ウェストリングがロックされている場合に表示されます

戻る

ホーム画面へ
(P. 24)

装着補助
ありの場合

装着補助
なしの場合

高さ調整
 イラストの様な姿勢をしてウェストリングを上昇させてください

ウェストリング 高さ

100 cm 14 段

上昇開始

戻る エラー解除



P13. 「ウェストリングの高さ」を参照して、大転子までの高さを測定し入力します。

※体幹保持具付のモデルでは表示されるイラストが異なります。


高さ調整
 イラストの様な姿勢をしてウェストリングを上昇させてください

ウェストリング 高さ

100 cm 14 段

上昇開始


戻る エラー解除




高さ調整

ウェストリング 目標高さ 14 段

挟み込みに注意!





挟み込みの危険がありますので、部に体を置かないでください。

高さ調整

ウェストリング 目標高さ 14 段


挟み込みに注意!



挟み込みの危険がありますので、部に体を置かないでください。

ウェストリングのロック
 ウェストリングをロックしてください。

①押す ②自動的に回る ③垂直にする



ウェストリングが上下に動き、ロックがかかります

戻る エラー解除

高さ調整
 ウェストリングをロックしてください。

①押す ②自動的に回る ③垂直にする

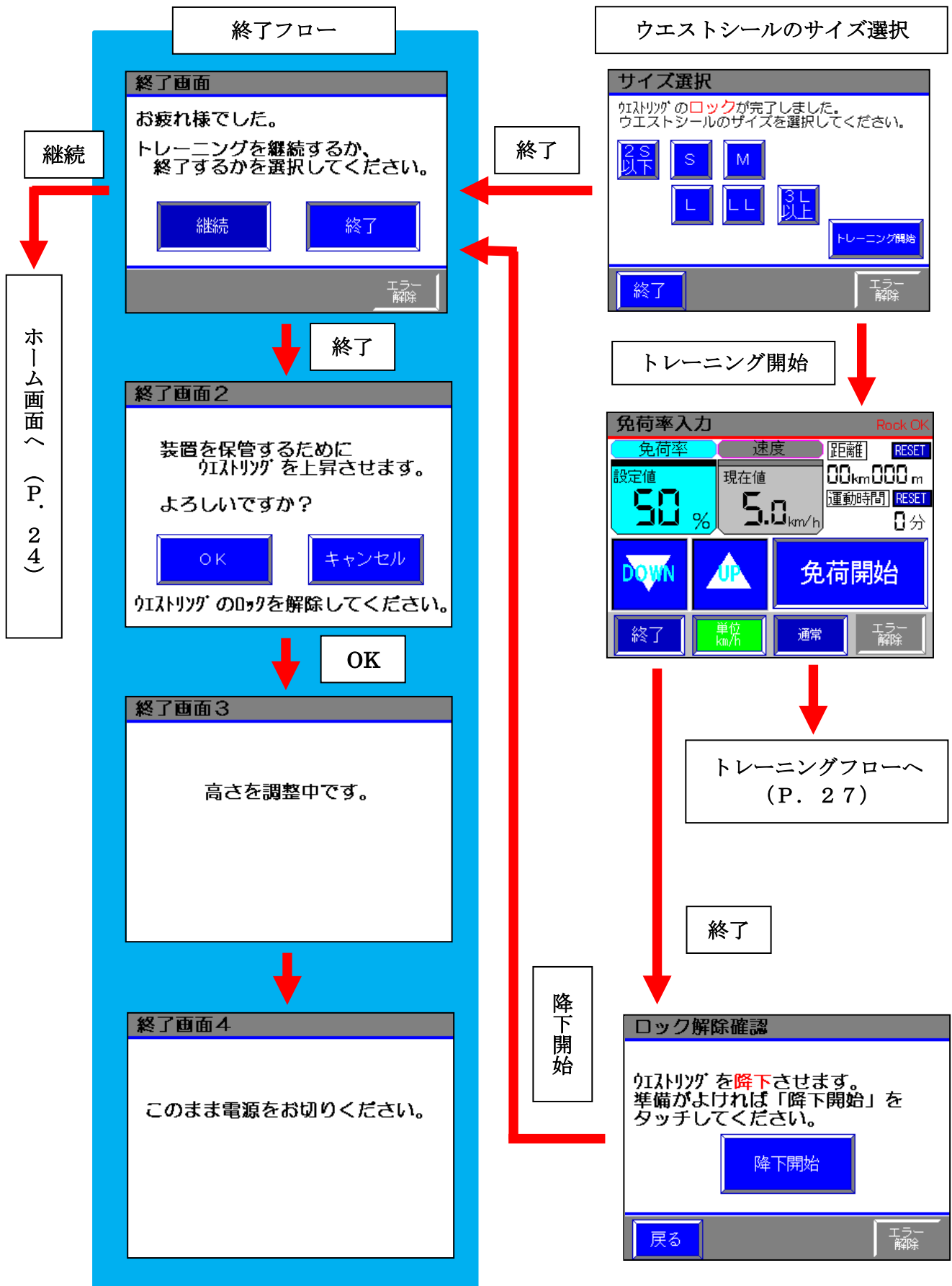


ウェストリングが上下に動き、ロックがかかります

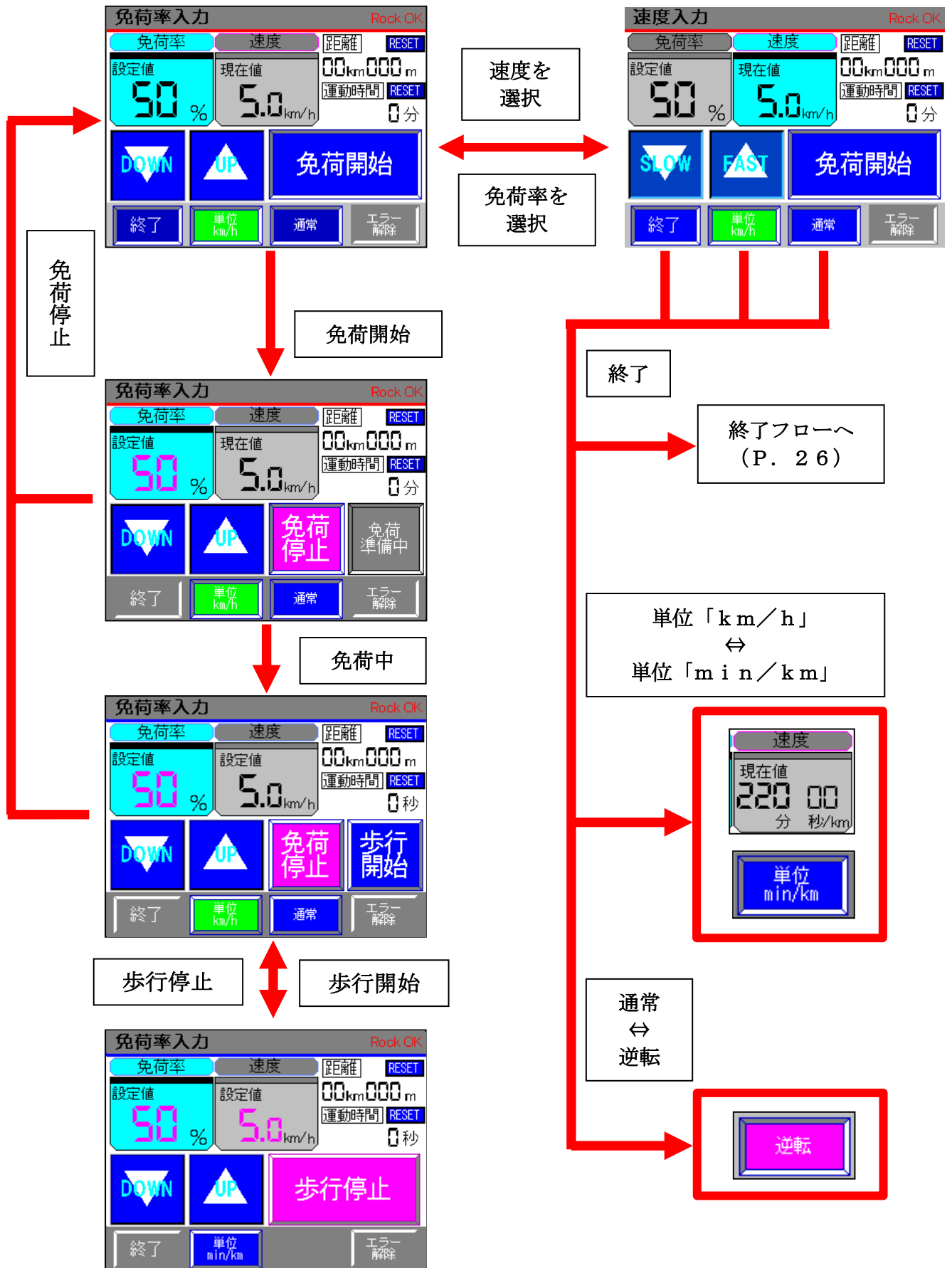
やり直し 「やり直し」にタッチするとウェストリングが一番下まで下がります。

戻る エラー解除

ウェストシールのサイズ選択へ (P. 26)



トレーニングフロー



メンテナンスフロー

メンテナンスの
必要あり

注意！
メンテナンスが**必要**です。
滑板の清掃、ベルトの張り調整、
装置全体の確認を行ってください。
メンテナンスが終わるまで本機は
動きません。

メンテナンス
を行う

注意！
メンテナンス時期が
近づいています。
あと30日以内にメンテナンスを
行わないと使用できなくなります。

メンテナンス
を行う

今はメンテナンス
を行わない

メンテナンスを行う

メンテナンス

カストリッジ 運転	下降	上昇
<small>カストリッジ のロック解除時のみ動作します</small>		
トレッドミル試運転	運転	
<small>カストリッジ が上限にある時しか動作しません</small>		
滑板の清掃	完了	
歩行ベルトの張り調整	完了	
装置全体の確認	完了	
すべて完了	未完了	

メンテナンス
画面に戻る

メンテナンス
完了

今はメン
テナンスを
行わない

メンテナンス（確認）

すべての項目にチェックが入りました。

メンテナンス終了
（ホームへ）

メンテナンス画面に戻る

ホーム
画面へ

Showa

TERASU WALKER

モード選択

装着補助あり

装着補助なし

装置情報

高さリセット

Version1.00

終了

エラー
解除

(2) ホーム画面について

「ホーム画面」には「モード選択」「装置情報」「高さリセット」「終了」「エラー解除」のボタンがあります。



- ①モード選択・・・・・・・・・・「装着補助あり」「装着補助なし」を選択できます。
各モードの詳細は、P. 15～P. 19参照。
- ②装置情報・・・・・・・・・・本機の基本情報を確認する事が出来ます。
- ③高さリセット・・・・・・・・・・ウエストリングの高さを一番下にします。
(ウエストリングが一番下にないときのみ、選択できます)
- ④終了・・・・・・・・・・本機の使用を終了します。
- ⑤エラー解除・・・・・・・・・・本機の使用、設定中に起こったエラーを解除します。
(エラーが発生したときのみ、選択できます)
- ※1・・・・・・・・・・タッチパネルのソフトのバージョンを表示しています。

(3) モード選択について

●装着補助あり

本機に乗り込んだ後にウエストシールを自動で装着することができます。画面の指示に従って、操作してください。(装着、設定方法はP. 15～P. 19参照、画面はP. 25参照)

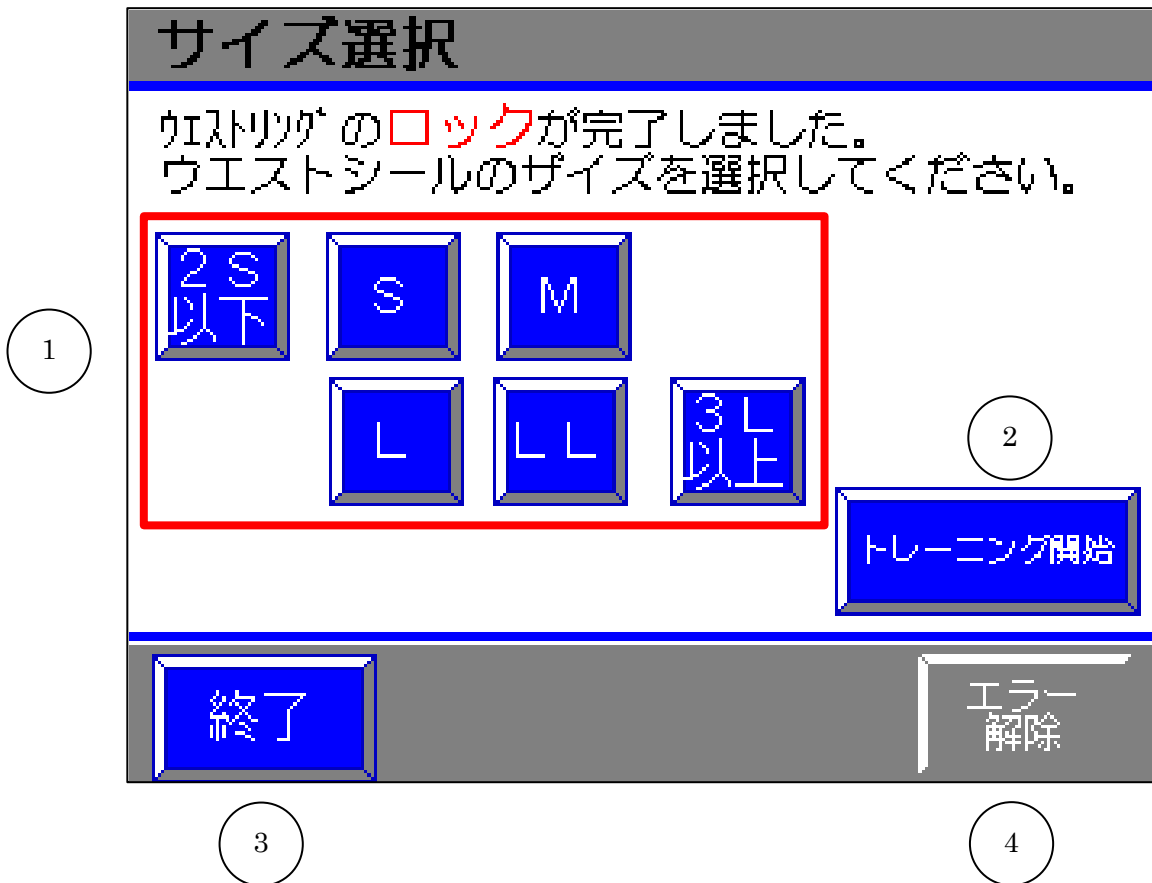
●装着補助なし

ウエストシールを装着した状態で、本機に乗り込む場合に選択します。画面の指示に従って、操作してください。(装着、設定方法はP. 15～P. 19参照、画面はP. 25参照)

(4) ウエストシールのサイズ選択について

P. 15の「ウエストシール サイズ表」を参照してください。

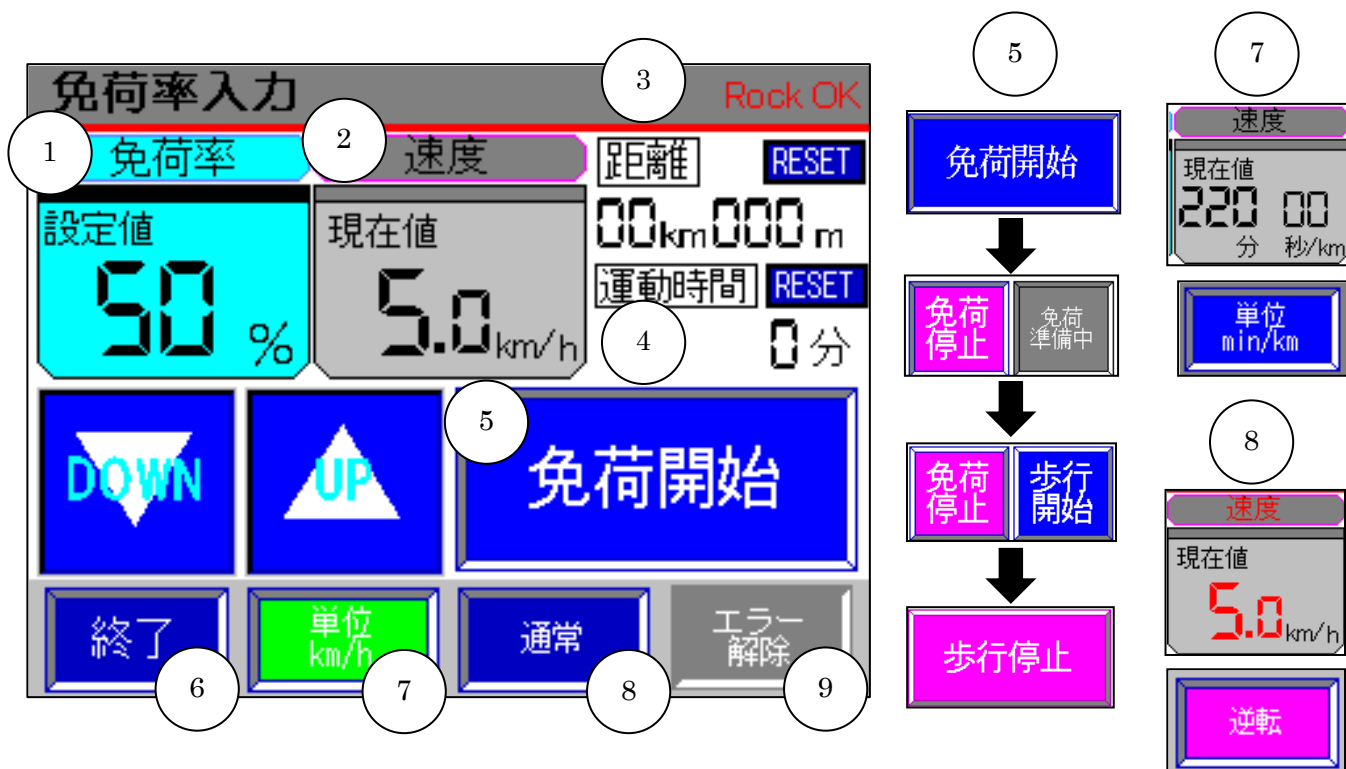
- ①ウエストシールサイズ・・・使用するウエストシールのサイズを選択します。
(初期状態は、「Mサイズ」を選択)
- ②トレーニング開始・・・・・・トレーニング画面に移動し、免荷、速度の設定、変更を行います。
- ③終了・・・・・・・・・・・・・・・・本機の使用を終了します。
(免荷起動中は、ボタンをタッチすることはできません)
- ④エラー解除・・・・・・・・・・・・本機の使用、設定中に発生したエラーを解除します。
(エラー発生時にボタンをタッチすることができます)



(5) トレーニング画面について

P. 27を参照してください。

- ①免荷率・・・免荷率を示します。免荷率が設定値に達し、安定すると表示している値がピンク色に変わります。中央の数字は常に設定値を示します。免荷率の変更は、上下ボタン（▼▲）で変更します。0～50%まで設定可能です。（1%刻み）
- ②速度・・・速度を示します。中央の数字は、運動前は設定値を、運動中は現在値を示します。速度の変更は上下ボタン（▼▲）で変更します。0.5～5.0 km/hまで設定可能です。（0.1%刻み）
- ③距離・・・歩行距離を示します。RESET ボタンを2秒間押し続けると距離表示がゼロに戻ります。99 km 999 mまで表示可能です。99 km 999 m以上は、そのまま表示は変わりません。
- ④運動時間・・・トレッドミルの運転時間を示します。RESET ボタンを2秒間押し続けると時間表示がゼロに戻ります。999分まで表示可能です。999分以上は、そのまま表示は変わりません。
- ⑤免荷開始・・・免荷を開始します。免荷を開始すると、歩行開始のボタンが現れます。
※圧力ジャケット内の圧力が一定以上になるまでは、「免荷停止／免荷準備中」と表示され、歩行はできません。
- ⑥終了・・・本機の使用を終了します。
- ⑦単位 km/h・・・速度表示を「km/h」⇔「○分○秒/km」で変更できます。
- ⑧逆転・・・トレッドミルの回転方向を「通常」⇔「逆転」で切り替えることができます。「逆転」時は、②の「速度」の文字と「現在値」の値が赤色に変わります。
- ⑨エラー解除・・・本機の使用時、設定中に発生したエラーを解除します。
 （エラー発生時にボタンをタッチすることができます）



(6) その他の画面について

①装置情報を確認

「ホーム画面」で「装置情報」をタッチすると装置情報の画面へ移動します。

「機器形式」・「シリアル番号」・「ソフトウェアバージョン」・「製造年月」・「前回メンテナンス年月日」・「前回歩行ベルト交換年月」・「歩行ベルト交換まで残り距離」・「トレッドミル総駆動距離」の8項目が確認できます。

装置情報	
機器形式	:TW12-05WD
シリアル番号	:123456789
ソフトウェアバージョン	:Ver1.00
製造年月	:2015年05月
前回メンテナンス年月日	:2015年05月01日
前回歩行ベルト交換年月	:2015年05月
歩行ベルト交換まで残り距離	:05000km
トレッドミル総駆動距離	:005000km 000m

戻る 手動操作

※この画面にある数字はサンプルとして設定した値です

②手動操作画面

「装置情報画面」で「手動操作」をタッチすると手動操作画面へ移動します。

メンテナンス時にウエストリングの昇降やトレッドミルの試運転が行えます。

手動操作	
ウエストリグ 運転	下降 上昇
ウエストリグのロック解除時のみ動作します	
トレッドミル試運転	運転
ウエストリグが上限にある時しか動作しません	
ホーム	ホーム

③メンテナンス時期が近い時

購入から11ヶ月目又は、前回のメンテナンス時から11ヵ月目でメンテナンス注意のために「注意」の画面が表示されます。「今はメンテナンスを行わない」で「ホーム画面」へ移動します。「メンテナンスを行う」で「メンテナンス画面」へ移動します。メンテナンスを行わないまま12ヶ月目に達すると、メンテナンスのための「注意」画面が表示されます。この時はメンテナンスが行われないと「ホーム画面」へ移動できません。

注意！	
メンテナンス 時期が近づいています。	
あと56日以内にメンテナンスを行わないと使用できなくなります。	
メンテナンスを行う	今はメンテナンスを行わない

注意！	
メンテナンスが必要です。	
滑板の清掃、ベルトの張り調整、装置全体の確認を行ってください。	
メンテナンスが終わるまで本機は動きません。	
メンテナンスを行う	

④メンテナンス

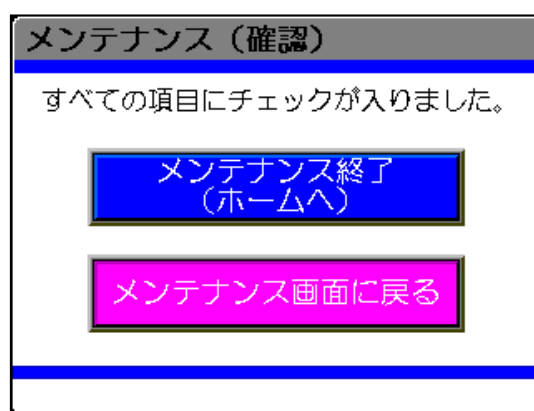
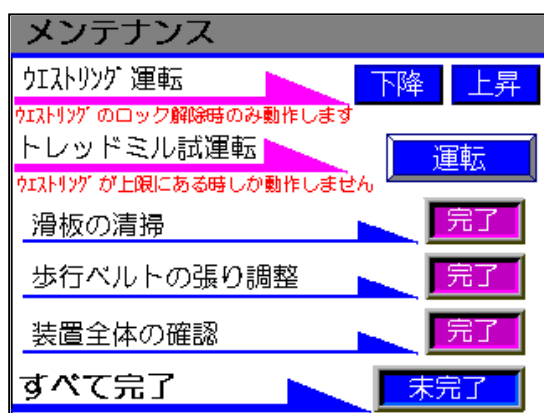
メンテナンス画面では、メンテナンス内容が表示されています。

滑板の清掃・歩行ベルトの張り調整・装置全体の確認を行い、それぞれ「未完了」ボタンをタッチして、「完了」にしてください。全てのチェックが完了し、「ウエストリング運転」「トレッドミル試運転」を行うとタッチパネル一番下の「未完了」が「完了」に変わるので、「完了」ボタンをタッチします。

その後、メンテナンスの再確認を行い、やり直す場合は「メンテナンス画面に戻る」を、メンテナンスを終了する場合は、「メンテナンス終了」をタッチしてください。

※本機のメンテナンス方法は「お手入れについて (P. 40~P. 42)」を参照してください。

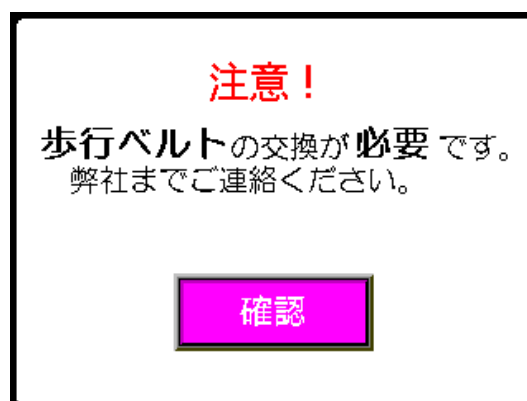
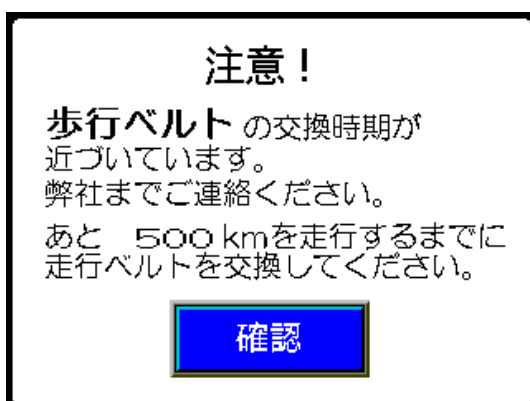
※メンテナンスの流れは「メンテナンスフロー (P. 28)」を参照してください。



⑤歩行ベルトの交換

「歩行ベルト交換まで残り距離」が1,000キロ未満になると、歩行ベルト交換の時期を知らせる「注意」画面が表示されます。「歩行ベルト交換まで残り距離」が0キロになると、歩行ベルト交換の「注意」画面が表示されます。「確認」ボタンをタッチすると「ホーム画面」へ移動し、本機を使用することができます。

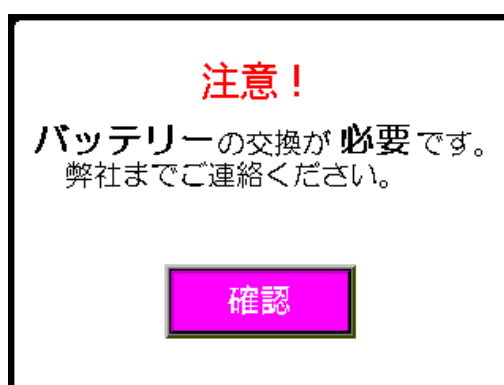
△注意 歩行ベルト交換時には、弊社（または販売店）までご連絡ください。歩行ベルトの摩耗が激しいとモータや制御機器に悪影響やユーザに危険を及ぼす可能性がありますので、早めの交換をお勧めします。



⑥バッテリーの交換

タッチパネルのバッテリーの交換が必要になった時に表示されます。「確認」をタッチすると「ホーム画面」へ移動します。

△注意 バッテリーの交換をされないと装置の時計機能が正常に動作せず、一部の機能に不具合が生じます。メンテナンス時期の表示にも関わってきますので、バッテリー交換の注意が表示された時は早めの交換をお勧めします。
(P. 43参照)



(7) エラー画面一覧

前述の他に、状況に応じて注意喚起のメッセージがタッチパネルに表示され、ブザーによる警告音が鳴ります。表示によって対応が異なりますので、よく読んでください。


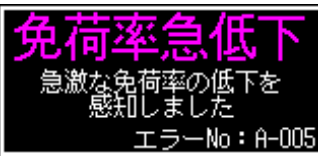
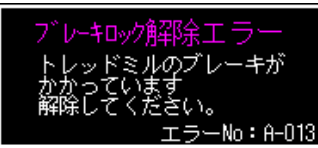
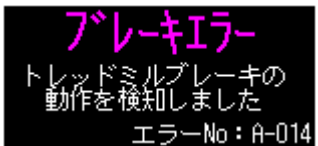
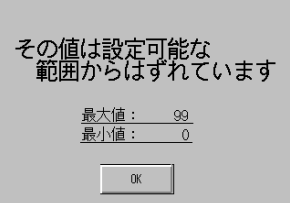
「確認」ボタンの無いエラー表示は、「エラー解除」で表示を消すことができます。

「緊急停止中」のみ緊急停止ボタンを解除しない限り、エラー表示が消えることはありません。また、エラーが表示された時、免荷、トレッドミル、送風が停止する事があります。この時、「確認」「エラー解除」で表示を消したとしても、エラーの原因を取り除かないと再度、同じエラーが表示されます。原因を取り除いてもエラーが表示される場合は、弊社（または販売店）までご連絡ください。

※エラー発生時に注意喚起のメッセージの右下に「エラーNo:○-○○○」と表示されます。

お問い合わせの時は、エラーNo:も一緒にご連絡ください。

 <p>ウエストリングロックエラー ウエストリングがロックされていません エラーNo: A-001</p>	<p>a. ウエストリングロックエラー ウエストリングのロックが正しく行われていません。 ウエストリングのロックが行われていない間は常に表示されます。 この時は免荷、トレッドミルを動かすことは出来ません。</p>
 <p>緊急停止中 緊急停止ボタンを 解除するまで動きません</p>	<p>b. 緊急停止中 緊急停止ボタンを押したときに表示されます。この表示があるときは、免荷、トレッドミルが停止したままとなります。 緊急停止ボタンを解除しない限り本機を動かすことはできません。</p>
 <p>トレッドミル過負荷 トレッドミルに過大な 負荷がかかりました エラーNo: A-006</p>	<p>c. トレッドミル過負荷 トレッドミルに過大な負荷がかかっている時に表示されます。 免荷、トレッドミルが停止します。 一度、メンテナンスを行ってください。 メンテナンス後も表示が出る時は、弊社（または販売店）までご連絡ください。</p>
 <p>免荷失敗 ウエストシールの取り付け を確認してください。 エラーNo: A-012</p>	<p>d. 免荷失敗 ウエストシールの取り付けミスなどで免荷が出来ていません。 ウエストシールの取り付け、圧力ジャケットの破れや固定部からの空気漏れを確認してください。</p>
 <p>免荷システム異常 免荷システムに異常が 発生しました。 エラーNo: A-010</p>	<p>e. 免荷システム異常 免荷システムに異常を感知した場合に表示されます。 免荷、トレッドミルが停止します。装置の使用を中断し、圧力ジャケットに穴が開いていない事、ウエストシールがしっかりと取り付いている事をチェックしてください。 それらに問題がない場合でも、問題が解決されない時は弊社（または販売店）までご連絡ください。</p>
 <p>送風システム異常 機器の異常を感知しました エラーNo: A-009</p>	<p>f. 送風システム異常 送風システムに異常が発生した時に表示されます。 免荷、トレッドミルが停止します。弊社（または販売店）までご連絡ください。</p>
 <p>機器異常 機器の異常を感知しました エラーNo: A-002</p>	<p>g. 機器異常 制御系機器に異常を感知した場合に表示されます。 免荷、トレッドミルが停止します。 本機の使用を中止し、弊社（または販売店）までご連絡ください。</p>

 <p>圧力ジャケットの膨らみ不足 確認 エラーNo: B-001</p>	<p>h. 圧力ジャケットの膨らみ不足 免荷が出来ていない状態で、「トレッドミル運転」をタッチすると表示されます。 解除する時は「確認」をタッチしてください。</p>
 <p>圧力不足 ジャケットの膨らみ量が安全値以下になりました。 エラーNo: A-007</p>	<p>i. 圧力不足 免荷用ブローの運転中に膨らみが不足した状態が一定時間続いた時に表示されます。(トレッドミルが止まります) ウエストシールの取り付け、圧力ジャケットの破れや固定部からの空気漏れを確認してください。</p>
 <p>免荷率急低下 急激な免荷率の低下を感知しました エラーNo: A-005</p>	<p>j. 免荷率急低下 免荷用ブローの運転中に免荷率が急激に低下した時に表示されます。ウエストシールとウエストリングの接合が急に外れた時などに表示されます(トレッドミルが停止します) ウエストシールの取り付け、圧力ジャケットの破れや固定部からの空気漏れを確認してください。</p>
 <p>ブレーキロック解除エラー トレッドミルのブレーキがかかっています 解除してください。 エラーNo: A-013</p>	<p>k. ブレーキロック解除エラー 免荷状態でトレッドミルにブレーキがかかっている時に表示されます。ロックを解除してからトレッドミルの運転を開始してください。</p>
 <p>ブレーキエラー トレッドミルブレーキの動作を検知しました エラーNo: A-014</p>	<p>l. ブレーキエラー トレッドミル運転中にブレーキがかかると表示され、トレッドミルが停止します。ブレーキのロックを確認してください。</p>
 <p>ウエストリング挟み込み検知 ウエストリングと体幹保持具の接触を感知しました。 安全を確認してください。 エラーNo: A-015</p>	<p>m. ウエストリング挟み込み検知 ウエストリングの昇降中に体幹保持具との接触を検知すると表示され、昇降が停止します。 体幹保持具またはウエストリングの高さ設定を確認してください。</p>
 <p>設定桁数をオーバーしました 最大値: 99 最小値: 0 OK</p>	<p>n. 設定値エラー① 入力値が入力可能桁数をオーバーした時に表示されます。 入力値を確認してください。</p>
 <p>その値は設定可能な範囲からはずれています 最大値: 99 最小値: 0 OK</p>	<p>o. 設定値エラー② 入力値が設定値の範囲に対して過不足があれば、表示されます。 入力値を確認してください。</p>

5. 移動・設置について

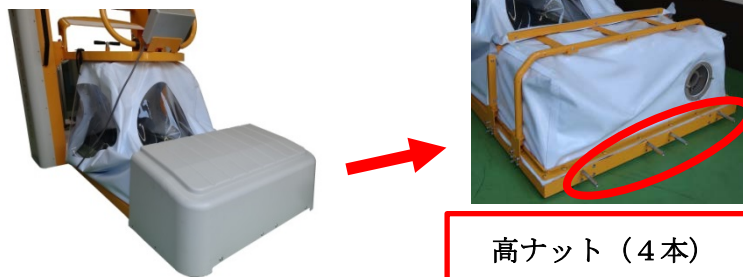
(1) 移動

本機を移動させる際は、以下の手順に従ってください。

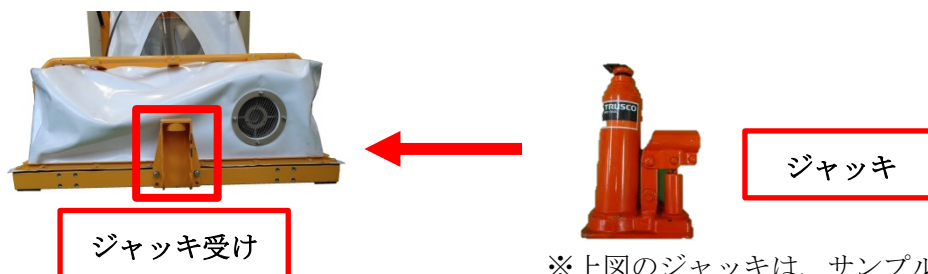
※移動前に、キャスターに変形・破損等がないか確認してください。

①本機のカバー（前後）を外す。

②高ナットを外す。（4本）



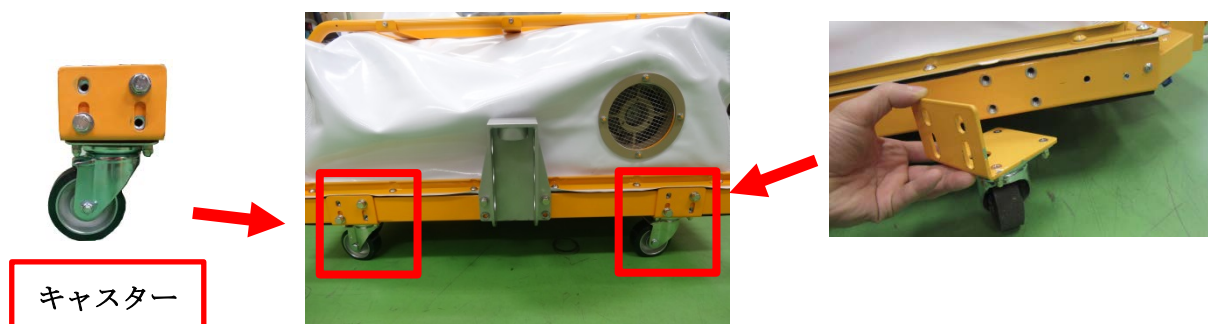
③ジャッキ受け（付属品）を下図のように取り付けて、ジャッキを設置してください。



※上図のジャッキは、サンプルです。
ジャッキはお客様で準備してください。

④ジャッキを使って、本機を持ち上げる。

⑤本機にキャスター（付属品）を設置する。（2ヶ所）



△注意 必ず片側ずつ持ち上げて、キャスターを設置してください。

⑥③～⑤と同様の方法で、本機の後ろにキャスター（付属品）を設置する。（2ヶ所）

⑦所定の場所に移動する。

※キャスターは前後左右へ動きます。安定して移動させる為に3人以上で本機を移動させてください。

(2) 設置

(1)と逆の手順で設置してください。

6. 緊急時の脱出について

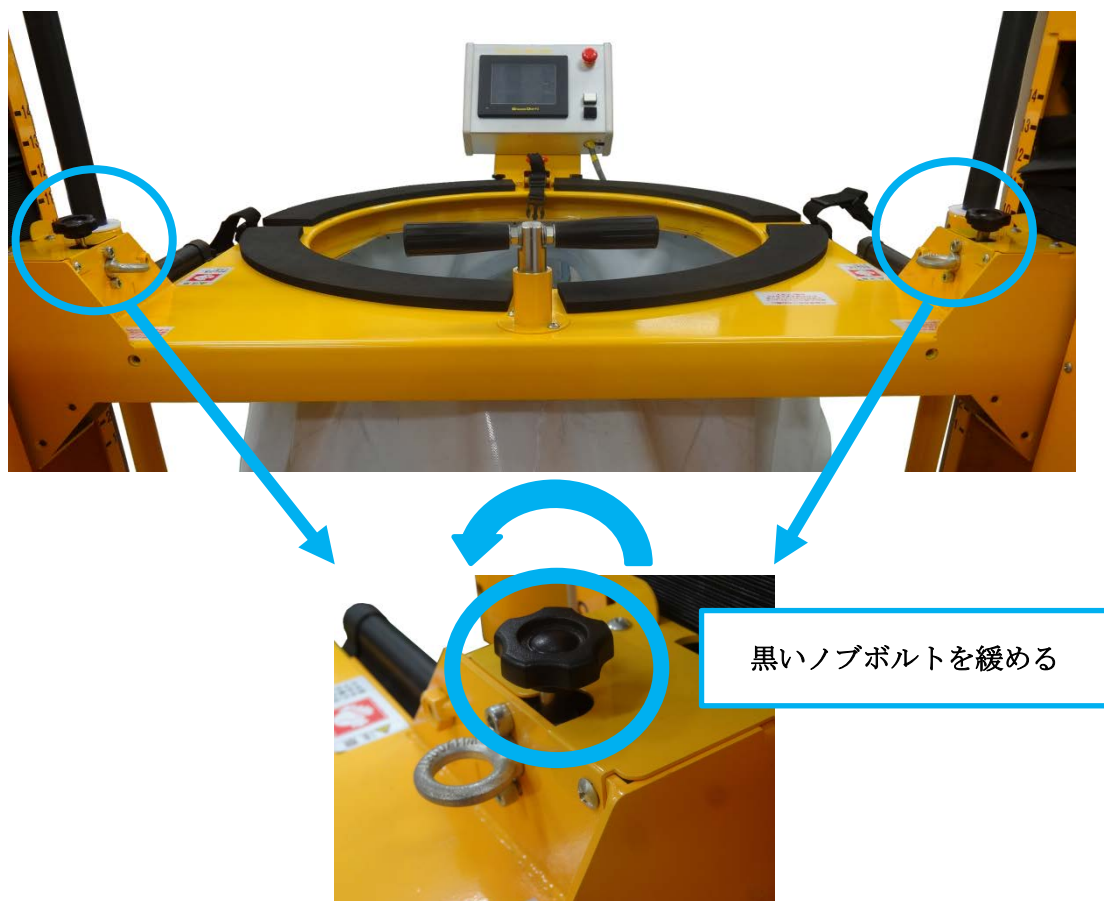
本機はトレッドミルの運転、ブローによる免荷を単相AC100Vの電源で行っています。そのため本機の使用中に停電などが起こった場合、動かすことができなくなりますので、次の手順で脱出してください。

①ウエストシールのバックル（3ヶ所）を外してください。

②ウエストリングからウエストシールを外してください。

⚠注意 次の手順からは、ウエストリングを降ろす手順になります。ウエストリングはワイヤーを使って持ち上げているため、次の手順を行うとウエストリングが急に落ちます。
2～3人でウエストリングを支えたいうで次の手順を行ってください。

③ウエストリングの左右にある黒いノブボルトを緩める方向へ回してください。



④ウエストリングの左右にある黒いノブボルトを緩めると、ノブボルトの下にあるアイボルトを引き抜きます。

⚠注意 アイボルトを引き抜くと、ウエストリングを支えているワイヤーが外れ、ウエストリングが急に落ちてきます。
2～3人でウエストリングを支えたいうで引き抜いてください。



アイボルトを引き抜く



アイボルトを引き抜く

アイボルトを引き抜くと
ワイヤーが外れる

⑤アイボルトを引き抜いた後、ゆっくりウエストリングを降ろしてください。

⑥ウエストリングを一番下まで降ろした後、本機から降りてください。

※緊急時の脱出後の本機の修復についてはお客様では行わず、必ず弊社（または販売店）までご連絡ください。誤った組立作業を行うと、ウエストリングが正常に動作しなくなります。

7. トレーニングについて

本機はトレーニングを支援する機器です。トレーニングされる方の体力、年齢、運動経験などには個人差がありますので、危険が無い範囲でのトレーニングをお願いします。

またリハビリテーションをされる場合は医師・トレーナーの立会いのもとでトレーニングを行ってください。

△注意 久しく運動をしていない方にとって急な負荷の変動は、心臓等に負担をかけ大変危険ですので、医師・トレーナーの指導のもとで免荷率・歩行速度の設定を行ってください。

8. メンテナンスについて

本機は体重を免荷させてトレーニングをするため、トレッドミルを圧力ジャケットで覆っています。

お手入れの際には圧力ジャケットを取り外してください。

※お手入れ（歩行ベルトの張り・圧力ジャケット内の清掃・装置全体の確認）は一度に行われる事をお勧めします。

△注意 メンテナンス時は本機の電源を切ってから行ってください。
感電・巻き込みなどの原因となります。

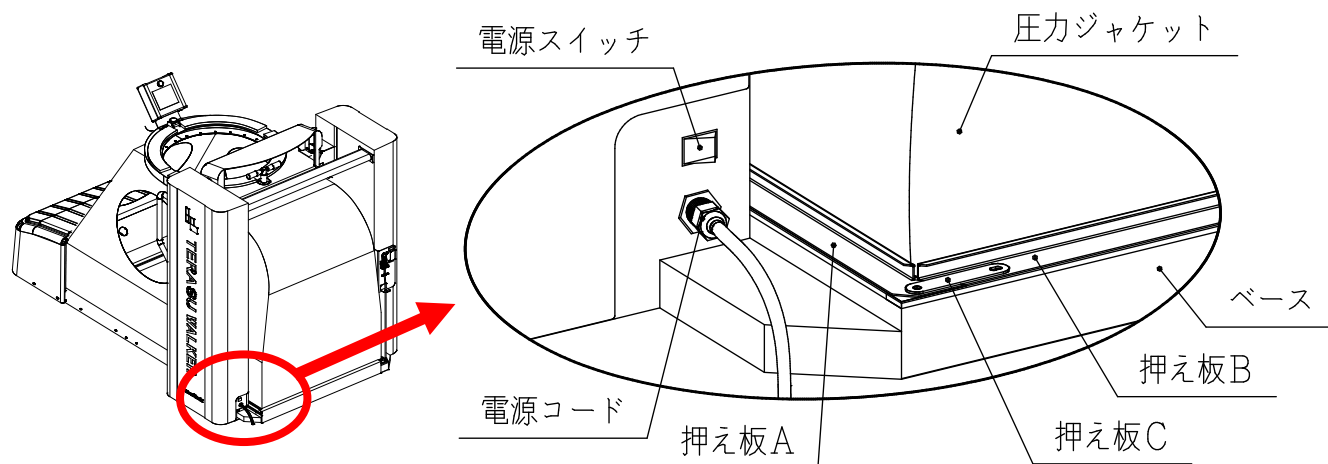
<圧力ジャケットの取り外し方>

①押え板 A・B・C の取り外し

圧力ジャケットの周囲を押さえている「押え板 A・B・C」を外します。

※ボルトを無くさないように気をつけてください。

※押え板で圧力ジャケットに傷をつけないように注意してください。



本機後方図

②圧力ジャケットの取り外し

「押え板 A・B・C」のボルトを外して圧力ジャケットを取り外します。

<圧力ジャケットの取り付け方>

②、①の手順で圧力ジャケットを取り付けてください。

※取り付けの際には、前後・穴位置を間違わないように注意してください。

△注意 押え板で圧力ジャケットをしっかり押さえてください。ボルトの締め付けが弱いと免荷時に空気漏れが起こり、故障の原因となります。

<歩行ベルトの張り・偏り調整について>

歩行ベルトの張りが緩いと運動中に歩行ベルトがスリップ（モータは動くが歩行ベルトは止まってしまう症状）して大変危険です。逆に歩行ベルトを張りすぎると、前後のローラに無理な力がかかったり、モータなどに負担がかかり、故障の原因となります。

下記の方法で適切な張り調整を行ってください。

△注意 歩行ベルトが動いている状態での調整は危険ですので、トレッドミルを止めてから歩行ベルトの調整をしてください。

●歩行ベルトの張り調整

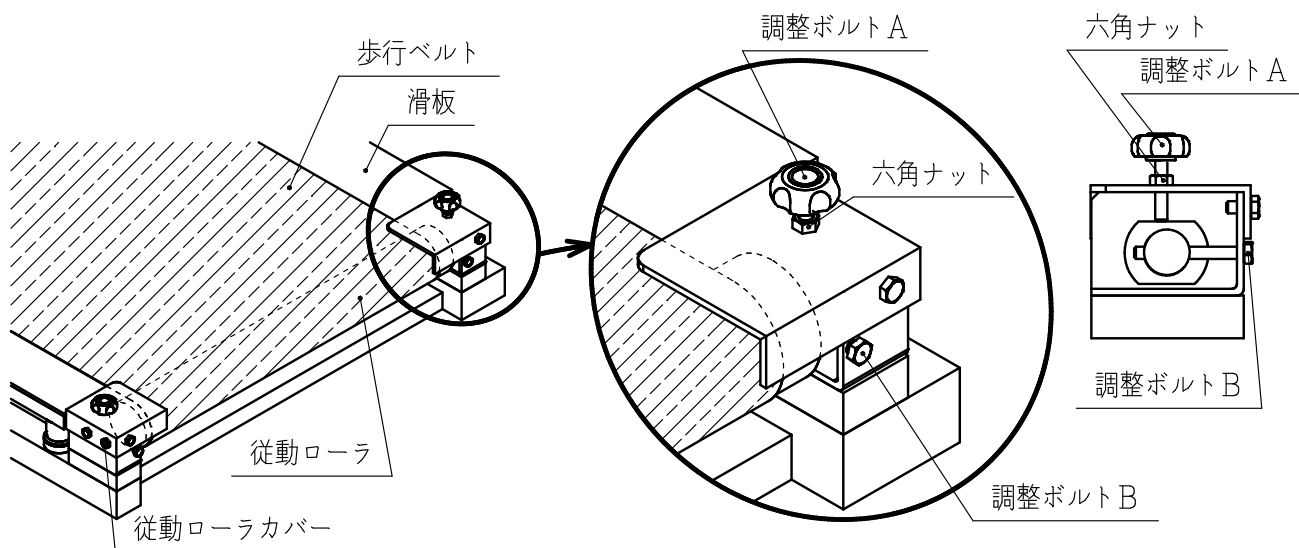
①六角ナットをスパナで緩めてから、調節ボルト A を緩めます。

②トレッドミル後方にある歩行ベルト調節ボルト B を回して、歩行ベルトの張り調整をします。

※調整ボルト B を回す時は90度ごとに回してください。

①歩行ベルトが緩んでいる時 左右の調整ボルト B を右へ回してください。	②歩行ベルトが張りすぎている時 左右の調整ボルト B を左へ回してください。
③歩行ベルトが右による場合 左をゆるめて、右を締めてください。	④歩行ベルトが左による場合 右をゆるめて、左を締めてください。

③調整ボルト A を締めてから、六角ナットを締めます。



●適度な歩行ベルトの張り

歩行ベルトの適度な張りの目安は、歩行ベルト中ほどの左右どちらか片方の端を軽くつまみ上げ、4～6 cm持ち上がる状態です。

●左右の偏りを調整するとき

①歩行ベルトが右側（左側）に偏った時は、右側（左側）の調整ボルトBを締めます。

②人が乗っていない状態で電源を入れ、メンテナンス画面または手動操作画面でトレッドミルを運転させます。（P. 32～33参照）

③歩行ベルトが中央に戻ってきます。

※歩行ベルトが戻ってこない時は、調整ボルトをさらに締めてください。

④歩行ベルトが中央に戻ってきましたら、トレッドミルを止めて調整ボルトBを少し緩めます。

※ここで調節ボルトを緩めないでベルトが反対側まで偏ってしまいます。

⑤再度トレッドミルを運転させて、歩行ベルトが中央で安定している事を確認してください。

※まだ歩行ベルトが偏るようでしたら、再度はじめから調節してください。

※メンテナンス時のベルト調整、試運転は圧力ジャケットを取り外して行ってください。

<圧力ジャケット内の清掃について>

定期的に圧力ジャケット内の清掃をしてください。

※本機の滑板は潤滑剤が含浸されています。滑板の清掃の後に潤滑剤を塗布する必要はありません。

※トレッドミル後部に削れたゴミが溜まるがありますが、靴底の摩耗によるものです。

<装置全体の手入れについて>

本体・圧力ジャケットの汚れが落ちない時は中性洗剤を薄めて拭き取ってください。

▲注意 支柱にはスイッチ・電子基盤・インバータ等が、前カバーには免荷用ブロー・トレッドミル用モータが内蔵されています。水を浴びせて装置全体を洗うようなことはしないでください。

<圧力ジャケットについて>

①水拭き（薄めた中性洗剤）で汚れを落とします。

②中性洗剤を使用した場合、水拭きにて中性洗剤を落としてください。

③乾燥した布で水分をふき取ります。

▲注意 透明部分にはシンナー等は使用しないでください。シンナーの跡が残り、透明部分がくすみます。圧力ジャケットはアルコール及び有機溶剤などで拭かないでください。生地が破れたり劣化する恐れがあります。

<ウエストシールについて>

●水、ぬるま湯もしくは薄めた中性洗剤を用いて手洗いで洗ってください。

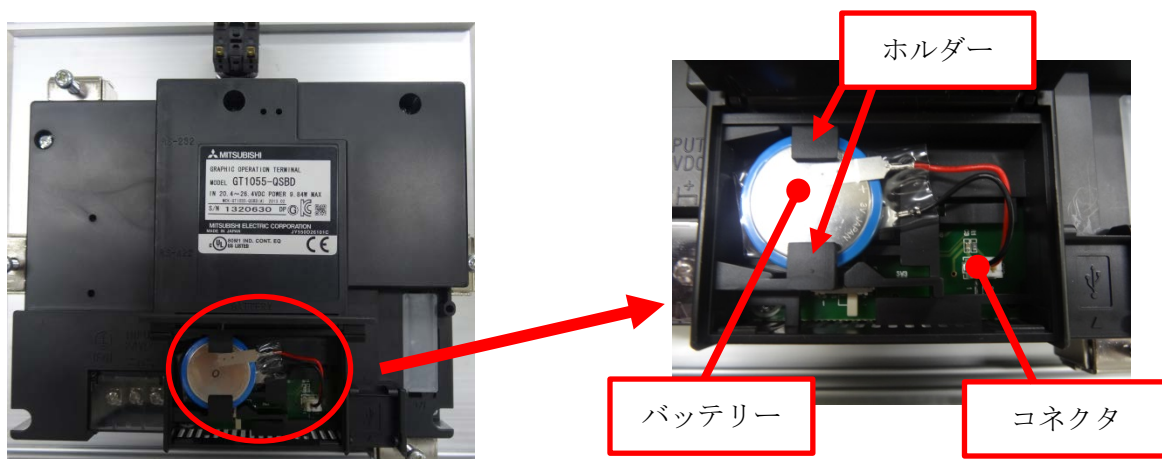
洗った後は、陰干ししてください。天日干しを繰り返すと、生地が劣化します。

<バッテリーの交換手順>

- ①本機の電源を「OFF」にします。
- ②タッチパネルのフタのボルト（片側各4本）を外します。
- ③タッチパネルの左右のフタを外してください。
- ④ケースを左右にスライドして、タッチパネルの裏側が見えるようにします。



- ⑤タッチパネルの裏側に「BATTERY」と表記したカバーがあるので開きます。
- ⑥バッテリーをホルダーから外し、コネクタを抜きます。
- ⑦30秒以内に新しいバッテリーのコネクタを差し込みます。



タッチパネルの裏面

- ⑧バッテリーをホルダーに挿入して「BATTERY」のカバーを閉じる。

△注意 コネクタを抜く際、バッテリーから出ているコード線を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。コネクタが抜けずにコード線が断線することがあります。

9. 消耗品、定期点検項目

本機を末長く使用していただく為に、定期点検を推奨いたします。

消耗部品、メンテナンス部品の購入や交換のご依頼の際は、本機の購入先か裏表紙に記載ある弊社（または販売店）にご連絡ください。

定期点検

項目	内容	期間
歩行ベルト	張り調整、片寄り、亀裂	3か月～6ヵ月
圧力ジャケット	破れ、亀裂	3か月～6ヵ月
圧力ジャケット内	清掃	1か月～3ヶ月
ウエストシール	ホツレ・破損	3か月～6ヵ月
タッチパネル	操作・反応	12ヵ月～24ヵ月

※定期点検の期間は、使用頻度により変動します。

消耗品

品番	形式	部品名	交換目安
10012058	SKTW-3S	ウエストシール	6～12か月 ※使用頻度により変動します ホツレや破損があれば 交換してください。
10012059	SKTW-SS		
10012054	SKTW-S		
10012055	SKTW-M		
10012056	SKTW-L		
10012057	SKTW-LL		
10012060	SKTW-3L		
10012061	SKTW-4L		
10012062	SKTW-K1		
10012063	SKTW-K2		
10012064	SKTW-K3		
10012065	SKTW-K4		
97060006	GT11-50BAT	バッテリー	約5年

メンテナンス部品

下記の部品は、メーカーによる交換が必要になります。

部品名	交換目安
歩行ベルト	10,000km ※交換時期がきましたら表示されます。
駆動ベルト	10,000km
軸受 (ピロー) (従動ローラ側) (圧力ジャケット用ブロー) (トレッドミル用モータ) (昇降用モータ×2)	約12,000時間
圧力ジャケット	24ヶ月～48ヶ月
ワイヤー（昇降用部品）	約20,000回（昇降回数）

※使用頻度や環境により寿命が短くなる可能性があります

10. トラブルシューティング

下記のような症状が起こった場合は、故障と判断される前に下記のような点をお調べください。

下記のチェックを行っても、改善されない時は弊社（または販売店）までご連絡ください。

症状	原因	処置
タッチパネルが表示されない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグの差し込みを確認してください
	支柱の電源が入っていない	電源スイッチが「ON」であることを確認してください
	コードが抜けている	支柱側又は、タッチパネル側のコードコネクタを正しく接続してください
	バックライトが切れている	弊社または販売店までご連絡ください
タッチパネルのボタンを押しても動かない	タッチパネルの寿命	弊社または販売店までご連絡ください
メンテナンス画面から進めない	メンテナンス時期になっている	メンテナンスを行ってください (P. 28、P. 40～P. 42参照)
「ウエストリングロックエラー」が消えない	ウエストリングが正しくセットされていない	一度ウエストリングのロックを解除した後、再度ウエストリングをロックしてください
「ウエストリング挟み込み検知エラー」が消えない	挟み込み防止センサに何かが接触している	接触しているものを取り除いてください
トレッドミルが動かない	緊急停止ボタンが押されている	緊急停止ボタンを解除してください
	免荷が始まる前に「トレッドミル運転」をタッチしている	「免荷準備中」が消えるまでお待ちください
	ブレーキがロックされている	ブレーキを解除してください
	残り時間がゼロになっている	マニュアルモードの設定時間を再入力してください
	各種システム異常が発生した (免荷、送風、機器)	弊社または販売店までご連絡ください
歩行ベルトがスリップする	歩行ベルトと滑板の間にほこりなどが溜まっている	滑板の清掃を行ってください
	歩行ベルトが緩んでいる	歩行ベルトの張り調節をしてください

症状	原因	処置
トレッドミルが急に止まった	緊急停止ボタンを押した	緊急停止ボタンを解除してください
	誤ってブレーキをロックした	ブレーキを解除してください
	使用中にウエストリングのロックが外れた	本機の使用を一時中断し、ウエストリングの調節を行ってください
	トレッドミルに過負荷がかかっている	メンテナンスを行いベルトの張り、偏り、滑板の状態をチェックしてください
	「免荷率急低下」が表示された	ウエストリングとウエストシールをしっかりと接合しなおしてください
	各種システム異常が発生した	弊社または販売店までご連絡ください
圧力ジャケットが膨らまない	「免荷失敗」が表示された	ウエストシールがしっかりとウエストリングに固定されていることを確認してください
	本体と圧力ジャケットの接合面から空気が漏れている	押え板 A・B・C の固定ボルトが緩んでいないか確認してください
	免荷用プロアの吸込口にほこりなどが溜まっている	前カバーを外すと給気口があります。吸込口を塞いでいるものを取り除いてください
	圧力ジャケットに穴が空いている	弊社または販売店までご連絡ください
	各種システム異常が発生した (免荷、送風、機器)	弊社または販売店までご連絡ください
免荷率が急低下した	ウエストリングとウエストシールが外れた	ウエストリングとウエストシールをしっかりと接合しなおしてください
	圧力ジャケットに穴が空いている	弊社または販売店までご連絡ください
歩行ベルトが偏る	制限体重を超えている	制限体重内で使用してください
	故意に横方向に力を加えている	歩行ベルトの張り調整を行い、正しく歩行してください
	歩行ベルトが緩んでいる	歩行ベルトの張り調整をしてください
	調整ボルト A を締め忘れている	歩行ベルトの張りを調整し、調整ボルト A を締め直してください
異常音がする	ボルトが緩んでいる	ボルトの締め付けを確認してください
	圧力ジャケットが歩行ベルトに接触している	圧力ジャケットが膨らみきってから、トレッドミルを動かしてください
	空気漏れが発生している	ベースと圧力ジャケット・ウエストリングとウエストシールの接合面がしっかりと止まっているか確認してください

1 1. 仕様

形式	体幹保持具無：TW2-05WD、体幹保持具付：TW2-05WD-H
製品寸法（最大）	体幹保持具無：長さ 2195mm×幅 1300mm×高さ 1355mm 体幹保持具付：長さ 2195mm×幅 1300mm×高さ 1800mm
歩行面寸法	長さ 1350mm×幅 600mm
製品質量	体幹保持具無：380kg 体幹保持具付：400kg
表示方法	液晶タッチパネル
歩行速度	0.5～5.0km/h 0.1 km/h 刻み（順走・逆走）
免荷率	0～50% 1%刻み
駆動方式	交流電動機、ベルト駆動
電源入力	AC100V 単相 50/60Hz 15A
環境仕様	温度 10～30℃、湿度 20～80%
用途	歩行トレーニング用
電源コードの長さ	5m
手持ち用タッチパネルコードの長さ	7m

1 2. 保証について

(1) 保証の範囲

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。ただし、お客様の修理時に要するお客様の設備、装置、その他これらに付帯する工事費用、輸送等に要する費用ならびにお客様に生じた機会損失、操業損失その他の間接的な損害については保証範囲外となります。

(2) 保証期間

製品納入の日から1年間とします。

(3) 保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- ①取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- ②お買上後の輸送、落下等による故障及び損傷
- ③火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障及び損傷
- ④弊社以外での修理、改造（製品への穴あけなどを含む）による故障及び損傷
- ⑤弊社指定品以外の部品を使用する場合の故障及び損傷
- ⑥異物混入による故障及び損傷
- ⑦経年変化または使用に伴う変色、傷、消耗部品の自然消耗等の不具合

(4) この製品の使用中に発生した不具合に起因する損害は補償いたしません。

(5) 以上の内容については、日本国内での使用を前提といたしております。

本保証は日本国内においてのみ有効です。本機の海外での使用は、保証の範囲外となります。



昭和電機株式会社 大東工場 営業推進部
〒574-0052 大阪府大東市新田北町1番25号
Tel. 072(870)5708 Fax. 072(870)7243